計　算　書

'87年 5 月 30 日

正典　様

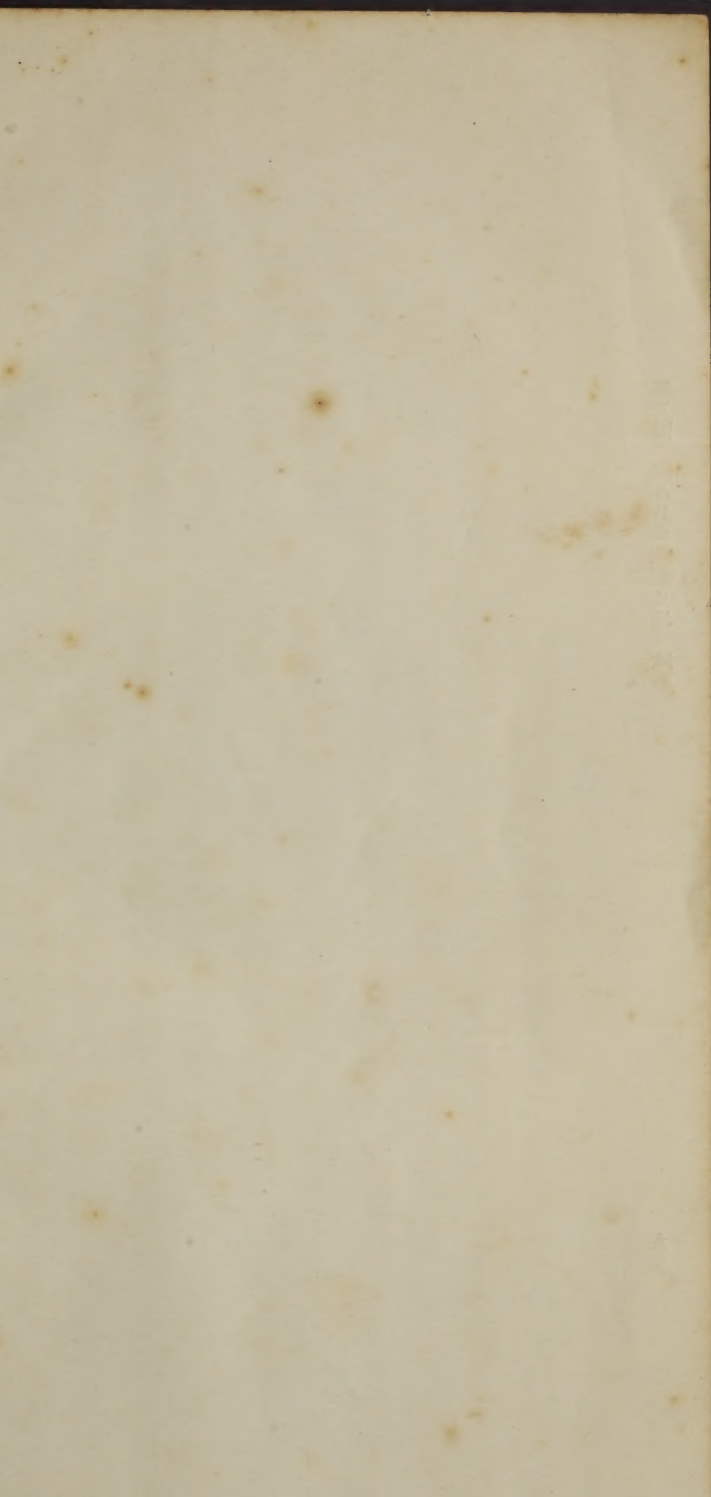
有限会社 巖南堂書店
〒101 東京都千代田区神田神保町 2 −13
電　　話　03(262)7233〜5
振　　替　東京 3 − 131686
取引銀行　第一勧業銀行神保町支店
口座番号　当座No. 0101874

…京区上高野
…町 12

…00 −

No. 2868

品　　　名	冊数	単価	小　計
…族研究資料	1		4500
		〒	200

…文有難う存じました。御査収の上御送金の程御願い申し上げます。
…記　　点は生憎売切れに成りました。悪しからず御許し下さい。

備をして神國の民として恥しくない義務を完ふしませう。（大尾）

丁度其時に於て遙か極東の日の出島が段々西の方に近寄りまして、其同じ距離に向つて進んで行うに發展して行く、ピラミツトの頂上に參りますれば三つの平面は一點になつて仕舞ふ、唯一點、五分間前迄は三つに分れて居つた三樣の世界が今は一つの點に變つて來る。猶太人が段々頭げて來ると云ふことは我々の眼の前に見て居る事實であります。御承知のことであります。日本西の方に發展すると云ふことは誰が何と言ふても我々が承知しなければならん事實であります。の上に現はれる所の日本の發展は猶太人との間が段々近くなつて參ります以上、我々の眼には見せんけれども、空の上も同じやうに基督の再臨が近くなつて來て居る。猶太人が日本人と手を握矢張り神州の人は我々選民の兄弟であると云ふて熱く握手をする、昨日まで死んだと思ふた基督び現はれて來て我は爾等の王なりと云ふて茲に世界全體に亙る所の王國が建てられます。日本のは日の丸であります。太陽の形を取つたものでありますけれども、太陽は必ずしも何時も東の山にあるものではありません。時間が來ますれば地球の眞上に當る所の中天に太陽が參る時が毎日あります。世界の大勢が段々遷り變つて極東の日の出島の麗はしい所の日章旗が世界の中心の橄の上。パレスチナの國の上に輝く時がないとは我々は斷言出來ませぬ。寧ろあると云ふ方が勝をます。是が三Ｊ政策が實現さるゝ時であります。

願くば諸君と共に此不思議なる神祕の事實が眼の前に現はれ來りますまで、私共はそれに對す

る神の眼から見れば天の上の基督と直ぐ西の猶太人と東の日本とを結付けると云ふことは朝飯前の仕事でありませう。而かもそれは今度の戰爭の結果として非常に近くなつて來た。例を以て言ふならば互に我々の世界は、今まで非常に離れて居つたが今は三分の一まで短くされまして三百哩まで縮つて參りました。我と基督は關係のないと言ふた猶太人、日本と我は關係はないと云ふた猶太人も世界の前には段々同じ方向に進んで居る。廣かつた所の世界は甚だ長い月日を費したにも拘らず段々上に向ひて進んで居る、猶太人が近くなつて參る。現に私のやうなものが皆さんの前に猶太人の話をするが如く猶太人の問題が日本人に近くなつて參りました。而も私自身は一方には耶蘇教を信じ一方に於ては日本人であつて、一方に於て猶太人のことを申します、既に私の一體に於て此三丁政策が實現せられて居る。私一人に出來るならば大きく國家に出來ないことは無論ありませぬ、世界に普及することが出來ない筈はありません。而も之を實現せしやうと云ふ所のものは誰であるかと云ふと天地の主宰なる神であると云ふことが結論であります、日本は神の國なり、更らに神道の學者の説明に依りますと言葉國と云ふ、神の御言葉の行はれる所と云ふ、言葉は思を表すものであります。思想の現れでありますからして神の言葉の國と云ふ、神の言葉の現はれる國、卽ち義の行はれる所の國であると云ふことであります。基督は神の子であるといふことは同じく神の御言葉を行ふと云ふことが根本でありますます。其如くに基督は神の義を三十三年の一生涯に致して最後に十字架上見事なるシンボルを以て我

此三つのもの、我は神の子なりと云ふものと、我國は神の國なりと云ふものと、我は神の民な云ふものと此三つが之を一々文字に現はして見ますと云ふと、是は日本語でありませんけれどもルハベットで申しますと耶蘇基督はJesus、猶太はJudea、日本はJapan、となつて皆Jの字が頭につす。こゝで三Ｊ政策が初めて現はれて來る。此三つのものはどうするか、バクダット鐵道を敷設す如く阿非利加鐵道を延ばす如く西比利亞鐵道を延長するが如く國を擧げて犧牲を拂つて自分の勢普及するのであります。吾々の信仰によれば耶蘇基督は既に殺されて死に、復活致しまして、昇られた、高き天の上に昇り給ふた既に此世の人でありません。其基督は西の方に居る猶太人と東の日本とまるで關係のない遠距離のものを聯絡します。若し或方策が出來方針が出來ますれば、阿利加と亞細亞と歐羅巴と亞米利加とが同じ鐵道で聯絡が出來る如くに此三つの離れた所の無關係ねて居つた所のものが聯絡すべき時機が必ずあります。今左樣なりつゝある、未だ完成は出來ん。阿非利加の鐵道の中にまだ二百哩未成線がありますけれども、其處には又或方面でそこ〳〵て居りますから必ず將來に於て出來るものだと云ふ自信があります。猶太人と日本人が手を握るは中々難かしい問題であります。日本人に耶蘇基督を敎へると云ふことは今の所は失敗であります猶太人に基督を敎へることは更らに出來ない相談であります。并しそれは人の考であります。

らば盗んでゞも儲けやう、法律に背かない範圍に於て泥棒しても金を儲けやうと云ふ迄に墮落して參りました。此世界は變らなくては滅びるばかりであります。德川十五代で潰れて影響が少ないと我々は思ひましたけれども、京都に向つては敬意を表さない所の武士が將軍家に對しては生命をも捨てると云ふそれ程まで日本國民の精神が頽つて居りましたが、たれが遂々今日の樣な擧國一致素晴らしい勤王心と變つた。これは實に時勢の賜物でもありますけれども彼は日本の歷史に於て殆ど無類の忠臣であります。德川慶喜は當時徒らに賊になつて居りますが、我々今日冷やかに公平に考へますれば是程の忠臣はございません。若し德川慶喜が大政を奉還しなかつたならば明治がありましたか大正がありましたか、彼が首を横に振りまして彼の爲に死ぬべき所の幾萬の所謂將軍家譜代の武士が刄を拔いだ以上は日本の國はどうなつたか分りません。總ての恨み、總ての不平を一身に引受けて德川慶喜が大政を奉還しました、而も賊名を被りました、偉い所です。それで日本が救はれて今日の如く國が變つて參りました。今日では神のことを御話しますと直ぐに横を御向きになるやうな人が尠くありません。算盤玉を彈いて居つた方が儲けがあると云ふことでは餘りに見苦しいぢやありませんか、さう云ふことが平氣で行はれて居ますけれども何時迄も繼續するのではありません。局面一轉して大政が奉還さるや否や昨日まで將軍家の爲に生命を捨ることを何とも思はず京都の方に向つて何の敬意を有つて居らなかつた武士が時勢の力に依て直に一轉して昨日まで德川家に擢んでた忠義の心をそれよりも

前世當世更後世、三世貫通對皇天」と云ふ、短いですけれども意味の深い詩を我々に殘して呉れま
た。横井小楠若し信ずべき偉人であつたならば何處が偉いかと云ふと「神知靈覺如湧泉」彼の魂に
世を通貫して變らない所の一大方針がちやんと備つて居つたことであります。三世と云ふのは過去
やありません、眼の前に見ゆる現代ぢやありません、まだ來ない所の未來が分ると云ふ、どうして
りますか、昔のことが分るならば何故先のことが分らんでどうします。人は淺はかなもので あり
す。前にコップある湯飲があると云ふやうに眼の前に見なければ事實と思ひません。基督の弟子の
マスは我もし其眼に釘の跡を見、わが指を釘の迹に探しわが手を其脅にさして探つて見なければ其
の復活を信じないと言ひました。人は愚かなものであります、邪なものであります。

それ僞は人にあり、實に麗はしい言葉です、空の上の天には嘘がないさうです。さう云ふ麗はし
ことは空の上のことで今の我々の世界には通じませぬけれども、昔から斯う云ふ汚ない世界ではあ
ませんでした。惡魔の世界になりましてから隨分汚なくなりました。哈爾賓に澤山立派な建築があ
ます。日本の兵隊が這入つてから汚なくして仕舞つた、見る影もないものになつて仕舞ひましたが
西人が這入るとすばらしい立派な建築になつて參りました、グランドホテルの如きはそれでありま
が、中に住んで居る人の心持如何に依つて善くも醜くもなる。世界又然り、之を支配する、惡魔が

分であるとして今日も尙世界の人々に我は神の選民である。故に選民以外の者は總て畜生である、人間として交るべきものでないと云ふまでに彼等は自覺を有ち又自信が眞に强くあります。國が滅び奴隷になりましても乞食の如き穢多の如き苦しい生活をしましても、彼等の我は神の選民と云ふ自覺は失ふことの出來ない彼等の肉であり血となつて居る、不思議な民族であります。此民族の問題からして重大なる二つの問題が起つて來ます。卽ちそれ程迄に大切な、卽ち神が世界の中心と定めた所のパレスチナを一時なりとも異教徒たる土耳其人の手に渡し、或は羅馬人の手に渡したと云ふことは頗る興味ある問題であります。世界の地理と世界の歷史は各國の關係卽ち或は平和又は戰爭を語るものでありまするならば、大きい世界と云ふものは或力と或力との爭ひである、又戰爭であります。マホメット教の教典であるコーランはいの一番から世界は戰場であると云ふて劍を執ることを教へて居ります。耶蘇教の基督は我は世に平和を出さんが爲に來たのではない刄を出さんが爲に來れりと明かに我々に教へて居ります。世界と云ふものは姑息なる平和の行はるべき場所でありません。或時期が來まする迄は惡戰苦鬪を繼續しなければなりません。必しも干戈に訴へる戰爭ばかりではありません、各種の意味に於ての戰場であります。何ものと何ものとの爭であるかと云ふことを御尋ねであるならば、それは實に神と惡魔との戰爭、人は其間に立つてどちらに付くかと云ふて始終質問されて居るのかも知れません。神に付くか惡魔に付くか、其時に昔の聖人は君士は義に付き小人は利に付くと教へまし

の人を苦しめ給ふた。二百萬の者が飲むべき水なく食ふべき食物の備つて居ない所で或は親が死にが死に何代も續いて四十年間苦行を嘗めた。是はイスラエル帝國の國民性を養はんが爲に彼等は經致しました。國民性を發揮し國民性を養はんが爲に四十年間荒野に住居したと云ふことは猶太人のに何處にあります。其偉大なる自覺が遂に勝を占めまして外の民族が哀れな最期を遂げつゝあります時に、彼等は今失はれたる國を自分の懷に入れて橄欖山上にダビデの旗を立てゝハレルヤホザナとふて神を讃めたゝへて居ります。四十年間國民性を堅められたイスラエル民族が神の定め給ふ所のナンのパレスチナ王國を建てまして、日本で申しますれば桓武天皇とも申しまする所の偉大なる王であるダビデが位に卽きまして、イスラエル帝國は連綿として丁度日本が榮へて居るが如くパレスナに於て立派な國體を維持して居りましたが、どう云ふものか途中に於て僅に三千三百年後に於て然滅されまして、神の選民と稱せられた所の猶太人が東西南北至る所に於て奴隷の生涯をしなけれならんと云ふやうな悲慘なる運命に陷りました。嘗ては神の選民と讃め稱へられた猶太人が奴隷のく取扱はれるやうに變つて來ました。それは何を我々に敎ゆるかと言へば此處に至つて初めて三Ｊ策と云ふものゝ現はれると云ふことが此意味に於て分つて參ります。若し猶太人が神の選民であと致しますれば、選民とは近衛兵のやうなものであります。天子の御玉體を生命を以て衞る丈夫の

ますけれども、昔パレスチナが神の選民と稱せられる猶太人の手に與へられました當時に於きましては蜜滴り乳流ると云はれるカナンの國でありました。サフラン薫じ橄欖香ふ所と詩に歌はれた所の麗はしい好い景色の場所でありましたそれが今は昔の面影は無くなりましたけれども、其荒れ廢れたる所のパレスタインは再び猶太人の手に戻りまして昔の橄欖山の美しき景色が段々と出て來るやうになつて參りました。此パレスタインを天の神、神と申しますと是は信ずる方も信ぜない方もあつて、それは人の勝手ですが、神は天地の主宰なり人は萬物の靈長なりと云ふことは我々子供の中に學校で學んだ積りである。世界が生きて居るならばさうならなければならん所の權威であります。冷かなる理窟を言へばどうにでもなりますけれども、自分の我儘を止めて永久に變らない所の世界に生きて居る大きな働きを考へて見ますと上の方の主宰者がないとは考へられない。若し世界が沙漠でないと致しますれば其處に住むべき人があるならば、そこには必ず或働くべき機關がある。麗はしい日光が輝くが如くに直ちに物理學に依て判斷され解釋せられるもの〻外に靈に依て働く所の不思議なものが現はれなければならんと云ふことを我々は信ずるものであります。眼に見ねませぬけれども天に在し給ふ神はパレスチナを御自分の選び給ふ所の猶太人に御任せにならんが爲に、今から數千年前に於てイスラエル民族を神の選民と云ふ麗はしい使命を與へ給ふて此選民の資格を備へしめんが爲に四十年間二百萬

歴史に於ても亦政策に於きましても、信仰に於きましても、世界の圖面から申しましてもパレスと云ふ所はどうしてもさうあらねばならんことになつて參ります。

斯の如く考へて見まするど世界と云ふものは國と國とが色々に自分の思ふ所を爲さんが爲に或を拔いて鬪ふか或は手を握つて應ずるか兎に角表面は荒波となり又は穩かに鏡の如くなる等、世大勢は色々變化致しまして、何となく死んだ所のものでない、面白い所の生命があるではないかふやうなことが過去の歴史を見ましても近代の事實を見ましても、將來を考へて見ましてもさうべきことゝ領れます、其生きて居る所の機關たる世界の中心がパレスチナにあると云ふ以上は此スチナは我々にも同く欲しいものであると云ふことは自然に浮んで參ります。

パレスチナには人間は幾人も居りませぬ。猶太人の國に變りましたけれども猶太人は二十萬人居りませぬ。併し此パレスチナがもう少し時間を御猶餘下さるならば著しく發展致しまして歐羅亞米利加と乃至東洋の文明が悉く集つて般賑極まりなきパレスチナと變ると云ふことは是は決し想ではございませぬ。パレスチナの地理を研究致しましても、地質を研究致しましても、植物を研

逸の三Ｂはベルリンからビザンチン、バグダツトで止るのでなく更に進んでベンガル灣まで行かなければならぬものであります。そこで三Ｂが四Ｂに變つて來る。最後に亞米利加の三Ａ政策が亞米利加とアラスカと亞細亞に終るものでない。もつと進んで阿非利加に入つて四Ａに變つて來る。地圖を御開きになると三ａｂｃも互に對した距離はございませぬが、四ａｂｃに至りまするを英吉利、亞米利加獨逸の政策がちやんとパレスチナに集合することが分りませう。世界の三大强國が何故に此の方面に向つて手を伸ばさうとするかと言へば、是はどうしても世界の中心であるパレスチナを自分のものにしなければならんと云ふことを何れも公言して居るので分ります。此パレスチナは長らく土耳其のものでありましたが戰爭の結果として猶太人の思ふことが成りまして、猶太人の手に戻りました。斯の如くにして獨逸の拵へたバクダツト鐵道、英國の拵へた所の阿非利加鐵道、近き將來に於て亞米利加が拵へると云ふ西比利亞經由の鐵道も皆猶太人に利用せられる樣になりまして、若し鐵道が世界を統一するに與つて力があると致しますれば卽ち猶太人は此等の鐵道を己れの手に奪つて遂に世界を統一するでありませう。斯る遠大なる謀が我々の知らなかつた昔からして著々進められて、是が實現する頃には我々はポカンと口を開いて默するより外ない時代が來るやうになつて參りは致しますまいか。世界の中心に當るパレスチナは小さい國でありますけれども、是が文明の中心であります。又世界の總ての權威を握る所の最も大切なる所の場所であると云ふことは地形のみならず、地理のみならず、

つてゞありますが、其設計は十分出來て居ります。それ程迄に努力してでも此パレスチナを得
英吉利と獨逸がどうしても衝突しなければならんまでにお互に歩が進みました時に、獨逸皇帝の
一方自分の思ふことを段々進めまして遂に今度の世界大戰爭と云ふものが始まらなければならく
それを焚付けました。惜らくは彼の計劃が數年早かつたか或は彼の考が少し間違つて居つたかは
ませんが、なれ程迄に準備した獨逸カイゼルの思惑が外れまして世界の大戰に於て却て敵の爲に
の國を滅すやうなことになりました。折角拵へたバクダツト鐵道は今は國際管理となりまして宮
彼の恨みを語つて居ります。さう云ふ鐵道は果して我々に何を敎ゆるかと言へば皆パレスチナを
にして現はれて居る。パレスチナに關係せずして彼は何の政策も施さず汽車も敷設しないと云ふ
を不言の内に明かに語つて居ります。而してパレスチナを中心にすると云ふことは獨逸ばかりで
ません。更に亞米利加の鐵道政策もずつと手を伸ばして遂にパレスタインに向つて自分の思ふ所
鐵道を延長しやうとして居ると云ふことは我々今日に於て頷くことが出來るのであります。

今迄は三abc政策でやつて參りましたが、私の判斷しまする所に依れば三Jでなければなら
若し獨逸のカイゼルに時間を許したならば、もう一つ延びて四abcになるべき筈のものであり
た。三が四に變ると云ふことは、先づ英國の三C政策と云ふケープタウンからカイロに參りまし

逸皇帝が死ねば自分も心中をしなければならんやうな關係を結びました。其時の密約はバグダート鐵道の敷設權でありますが、其敷設權の密約が結ばれたことを知らずして、時の英國のコンスタンチノーブル大使は後に於て、本國に申譯がないと云ふのでボスボラス海峽に身を投じて死にました。さう云ふ悲慘な歷史が行はれて居つたと云ふことはつい近頃のことでありますが、それは誰がしたか、猶太人が一方土耳其に這入り一方獨逸に這入り彼方此方に手を回して自分達の都合の好いやうに仕向けた。シオン團の牧者であるヘルツルと云ふ英國で有名なる學者である。氏は當時新聞記者でありましたが、議論と學識と威嚴とを兼ね備へて土耳其皇帝がカイゼルとエルサレムに於て手を握つて居る時に同じく其前に敬意を表しに參りまして、バグダット鐵道の敷設權に參加は致しませぬけれども、兎に角これに或種の關係をしたといふことは今日に於て認むることが出來る事實であります。一足先に失敬した獨逸皇帝は本國に戻りまして、知らぬ振をして戰爭の準備をして行くと同時に、一方に於て鐵道を十分に完成致しました。英國はあせつて阿非利加の鐵道を拵へました。まだ二百哩ばかり殘つて居ります。兎に角英國も負けず劣らず拵へましして、若し自分達の小亞細亞に於ける鐵道が旨く行かなかつたならば詰り埃及からカイロに拔ける所の鐵道が思ひ通りに行かなかつたならばパレスチナの北の方にあるハイファと云ふ港からヨルダン川に大きな隧道を拵へて、それから死海に這入り、アラビアのハレスチナに行く百二十哩に亙る大隧道を拵へる計劃でありました。是は萬一のことを慮

るならば、是は見事に世界を一統出來る資格を備へるものであります。續いて獨逸が伯林を起點しましてビサンチン即ち今のコンスタンチノーブルに出る、それからバクダットへ鐵道を延ばす。れに依つて彼等は中央鐵道を見事に造る力を持つことが出來ました。更らに亞米利加は獨り離れて、パレスタインとは少し離れて居るやうに思ひますがこれは、後に申します、三A政策即ち亞加よりアラスカに進んで亞細亞に向ふ所の鐵道を拵へ、勿論ベーリング海峽の地下を潜つて、之て世界を自分のものにしやうと云ふことが今も尚昔に變りませんが、此三つの政策の中獨逸の政策旣に滅びまして今は英國と米國の天下であります。

此鐵道を敷設するとしないとに依りまして自分達の勢力は非常に違ひますので少しく關係の鈍國は別でありますけれども、直接に關係の深い英吉利と獨逸は是が爲に非常に競爭致しました。獨逸は千八百九十七年の頃からカイゼル自から土耳其に參りパレスチナに參りました。さうして其皇帝と密約を結ばんと努めました。其時にコンスタンチノーブルのマホメット敎の御寺の前に彼手洗鉢の寶物を寄附致しまして今も尚殘つて居りますが、すばらしい立派なものであります。クチャンである獨逸のカイゼルが異敎徒の御寺の前にこんなものを寄附したと云ふことは旣に彼の腹底の野心が讀めます。中央鐵道を拵へるには固より神に反いて信仰を破棄したのであります。其手

ば又大きいのは無用ではありませんか。極く小さい是が人間の生命を司つて居つた中心であつて、其中心の跡が殘つて居るのである。パレスチナは此世界の臍のある所であります。神と人間との血脈が聯絡して、今は切れて居りますけれども、聯絡して居つた、其臍の所が卽ちパレスチナです。猶太人が自分のものにしなければ神樣に對して申譯がないと云ふて今日まで二千六百年間非常に奮闘致しました、我々の習慣として自分の死にます時には臍の尾を棺の中に入れて持つて參ります。何の必要か知りませんが習慣です。若しそれが立派に麗はしい習慣と致しますれば猶太人がパレスチナを奪つて神に棒げるといふ精神に對しては敬意を表せざるを得ません。若し試みにパレスチナを中心にしますれば約七千哩、八千哩程の半徑を以ちまして大きな大圓環を引きますといふと東八千哩に日本あり、西八千哩墨西哥、北六千八百哩に諾威皆這入つて居ります。世界に於ける國と云ふ國は悉く這入つて居ります。さう云ふ不思議な場所、其世界の中心を奪はんが爲に獨逸は何をやつたかと申しますれば三B政策、英吉利は三C政策、亞米利加は同じく又三A政策と云ふ鐵道の敷設を計りまして、自分のものにしやうとやつて參りました。是は戰爭前までの大問題でありました。今日に於てはABC政策と申しますと時代遲れであると或人は言はれるか知れませんが、其人こそ一を知つて二を知らない人であります。英吉利は自分の領土の阿非利加のケープタウンから埃及に參りましてカイロ、それを經まして印度のカルカツタに向つて鐵道を三角形に引きまして、之を三C政策と云ふ。若し是が實現す

の一部分でないかと云ふ感を起さざるを得ません、此の地方を占領せんが爲に今日まで何千萬の
生命を犧牲にしたかは分りません。最近に於きましてはカナイ事件が前後九回に亙りまして、其
一回には八歳、九歳、十歳の子供達まで犧牲となり、遂に土耳其の手に取られた、猶太人から見
れば異教徒の如く思はれる、土耳其人の手に奪はれました。此一小土を何が故に然らば世界の各
が左程までに注目するかと申しますれば、パレスチナと云ふ所は三大宗教の發生地でありまして
ち猶太教、基督教、及びマホメット教の三つの宗教の發生地であります。宗教に熱心な、信仰に
て居る歐羅巴諸民族が此靈土を自分の手に得んが爲に互に爭ひ、互に競爭すると、云ふことは不
なことではありませぬ。マホメット教は之を奪はんとし、猶太教も亦之を奪はんとし、基督教亦
奪はんとして玆に爭ひが起きまして長い間の戰爭が行はれましたが、遂に最近に於ては土耳其帝
滅され、(猶太人の爲に)、さうして猶太人は最後の勝利を占めてパレスチナは見事に二千六百年
の今日、聖書の豫言の如く猶太人の手に戻されました。此少さい一少土、彈丸黒子のやうな一寸
と地圖の上でも左程氣の付かないやうな場所でありますが、是が世界の中心であると云ふことは
人のみの信仰ではありませぬ。一寸考へますと云ふと中心と云ふならばもつと大きいやうに思
ますけれども、さうぢやない、立派なもの程小さくてもそれでよいのであります。卑近なる例

ましてパレスタインは今日まで不思議なる搖籃の內に成長して參りました。三大陸の交叉點、三文明の接觸點、地形を申しますれば、更に西の方に地中海と云ふ海がある。それから北の方には裏海黑海あり、南の方には紅海あり、アラビヤ灣がある、又東南の方には波斯灣があつて、斯うずつと大きな灣或は海に依つて圍まれて居りまして、自然に是が一天地を爲して居るやうな地形でありまして、更に其の上の北の方の端にアララトと云ふ不思議なな山が聳へて居ります、此の山は別に害のある山でありませぬけれども、歷史上忘るゝことの出來ない不思議な山であつて、其の山の上にはノアの一家族を引連れて洪水を免れたと云ふ昔の事實が今も尙ほ殘つて居ります。其の祕密の歷史は二十年前頃からそろ〳〵現はれ始めました。最近の學者はノアの方舟は函の船でなかつた、是は埃及のピラミットであると云ふことを言ひます。私は學者の說に對しては彼是批判は致しませぬが我々の信ずる聖書の記錄に依りますとアララトの山の上に止つたと云ふ其の方舟は神代以來嘗て見ざる氷の中に閉ざされてありまして、誰一人見たものはありませんでしたが、二十四五年前に或學者が探見致しまして、其の氷の一部分解けた所から或大きな四百尺に亙る大きな石のやうなものが現はれたと云ふことを報告して居ります。それは果して方舟であるや否や分りません。分りませぬけれども二萬尺の大きな高い山の上に俗人が足跡を印しない不思議なる祕密が昔を物語りつゝ現代を見卸して居ると云ふことを思ふと、何となく神々しい又懷かしい親しいやうな感じが勃々として起つて來まして、所謂方舟

い蜜柑に依て發見した所の其事を世界に應用して世界の大勢と云ふものも斯の如く見ることが出
と云ふことを自分の頭の中に會得致しまして、それ以來面白き研究面白き視察が出來るやうにな
した。其世界の中心を誰が何處に置いたかと云ふことは、是は今からずつと昔の世界の開闢まで
なければ斷定は出來ませんけれども、既に世界が成立つて居つて眼の前に斯の如く日々面白き發
しつゝある以上其中心は何處にあつてどんなもので、さうして誰が之を握つて居るかと云ふこと
だ面白き研究であります。時間が短くありますから飛ばして直ぐに申上げますが、私が今晩御話
うと思ひますことは詰り世界の中心を本として之に依て三abc政策といふ近頃世上を騷がした
が出て參ります。此三abc政策に次で三J政策が行はれます。其世界の中心と云ふものは何處
るかと云ふとパレスタインである。パレスタインと云ふは地中海の東沿岸でありまして日本の九
の小さい所であります。けれども是は又不思議な地方でありまして、是が爲に殆ど世界の歴史の
の一乃至半分はパレスタインに關係して居ると云ふことを斷言出來ますまで、面白き關係を有つ
ります。先づ地理を申しますれば東の方には亞細亞があり南の方には阿弗利加があり、西の方に
羅巴があり、歐羅巴の文明を代表する羅馬及希臘、阿弗利加の文明を代表する埃及、亞細亞の文
代表するアフガニスタン及波斯、斯う云ふ國が悉くパレスタインに關係して居つたと云ふことは

嘗て子供が二三人集りまして密柑を剝きながら此密柑を剝かないで中に幾總あるかと云ふて話して居りました。私はそれを脇で見て居りました。八つです、十です、十二ですと色々にあてゝ見ます。無論憶測であります。中を見ると云ふと九つしかなかつたとか十あつたとか云ふだけで、唯自分の判斷憶測が當れば面白く、當らんければ詰らん顏をするだけの話でありました。其時自分がそれを見て居つて、一つの密柑を手に取つて皮を剝がずに臍を引き拔いて見ますと其處に今迄更に氣の付かなかつた不思議な祕密が現はれて參りました。數へて見ると云ふと十一ある、剝いで見ると云ふと總が其通り十一ありました。其次には大きいか小さいか直に分る、皮を剝がなくして何遍やつてもちやんと明かに中が分るやうな具合になつて居ります。或る主點に祕んで居ります一箇所を摑へれば、中の祕密が總て分ると云ふことは啻に密柑ばかりでありませぬ。密柑の臍の中を見るといふとボツ／＼があります、其ボツ／＼の所を見ますと皮を剝がずに中の總の數が分る、大小も分る。極く小さい卑近なる例でありますけれども、總てのもの總て斯の如し、一番本であるべき所の其要點を摑へれば後は見ずして分る筈です。世界が若し形は假令密柑の如くに圓くなくても人間の住む世界と云ふものが生きて居つて中心があつて不思議な働きをして居ると云ふことが事實でありますれば、其世界の中心を摑へれば世界の大勢と云ふものが我々に分るべき筈であります。啻に現代のみならず今後二十年三十年乃至百年或は何百年後のことも分るべき筈です。是は決して空想ぢやありません、そこで私は一つの小さ

役も立ちませぬので近侍のものが頻に恐縮して居りますと云ふと年は小さくとも身體は小さくとも
膽は既に天下を呑んで居る如くに彼家光は筆を執つた儘毛布の上をポンと打つた。廉い毛布であり
すけれども其當時に於て將軍家の寶物であります。それを見て秀忠は此子以て天下を託するに足る
詰り文字が出來ぬと云ふ場合に於て彼は文字を生かさん爲に總てのものを犧牲にした。子供の中か
其考があつた。文字に囚はれるやうな小策の人でなしに文字を自分の爲に現はして行くと云ふ大策
人間であります。家光の人物の善惡は別ですされども、天下を呑む氣配は既に年十二の時から備つ
居りました。文字が生くるか死ぬかと云ふことは文字の中心の有無しに依て岐れます。中心が何處
有るかと云ふと最後の一點にある、それをもつと大きく考へて見ると云ふと建築でも繪畫でも彫刻
も文學でも音樂でも中心のないものは美術でありません。ペンキで看板を書きますけれども、繪は
んで居ります。中心の有無に依て生くる死ぬると云ふものが岐れるのであります。世界と云ふもの
決して大きな土の塊だけではありませぬ。此世界は我々が信ずる所に依りますと云ふと慥に或大き
生きて居る機關であつて、神は天地の主宰なり、人は萬物の靈長なりと云ふ、其處に力の有る生き
力が働いてこそ初めて面白き或は歷史となり、或は事實となり或は將來の參考となつて、此世界と
ふものが色々に變化して參ります。此世界の中心を何人が造つて何人が何處にそれを置いたかと云

第三回　三ＡＢＣ政策と三Ｊ政策（十一月五日於本社食堂）

昨晩少し聲を使ひ過ぎまして咽喉を嗄らして居りますが、尙其上に今晩急に歸らなければならんやうになりましたので、後ろから追はれるやうな氣が致しまして落著いて御話することは少し無理でありますけれども、再び當所に參る機會は近き將來に於て一寸豫期出來ませぬので時間の許す限り今晩の題を結ぶ考であります。

德川家光が年齡十二歲の時に父の秀忠が此子果して天下を取るに足り得るや否やを試す爲に、或日彼に向ひまして龍と云ふ字を一つ書けと申されました。其家光が親の言付に依りまして彼は直に準備せし所の白き毛布と紙とを前にして大きな筆を執つて字を書き始めました。字は僅に龍と云ふ一つの字であります。年は僅に十二の子供であります。固より子供としては親に試されるとは知りませぬ。けれども彼が平生心に抱く所の潑剌たる元氣は紙面に向ふや否や、大きな筆を執ると共に龍と云ふ字をすら〳〵と書いた。餘り大きく書き過ぎたか、或は紙が小さくありましたか知りませぬが、兎に角龍と云ふ字を將に結ばんとする一番お終ひの點を打つ場所が無くなつた。それを秀忠が狙つて居つたのであります。其時近侍の者が見て居りまして、はて困つたことが出來た、折角立派に出來たけれども、最後の一點を打つことが出來なければ是が龍にならない。若し龍にならなければそれでは補佐の

皇室を呪ひ又日本帝國の運命を呪ひつゝあると云ふことを、今日吾々は及ばずながら或る所まで
ましだが、若し是が事實でなかつたらばそれは大變な仕合であります。萬々一私の此眼で認めた
事實が天下の事實であつたとしますれば、諸君我々は大に研究すべきことゝ言はなければならん
す。我々は國を離れても日本國民です。日本人と云ふものは日本のみに居るものばかりでなくて
うしても動かすことの出來ない大和民族の魂が我々の血の中に循つて居りますものは、日本の國
脱して外國に飛んで行かない限りは、我皇國の運命を呪ふて、斯くまでに努めつゝある所の二大
に對して、今日の如く安閑としてをることは出來ない筈です。知つて爲さゞるは不忠ではないか
忠の名前は子供に言はれたくない。我々は忠君愛國の誠を竭さなければならん。最全の力を竭し
る後に天佑を仰がれんことを御勸め致します。

して魂から腐つて居るのではありませぬから彼等は美しい國民性を發揮致しまして、自分は義を重んずる所の精神からやつて居る。然るに相棒の亞米利加はどうも利にばかり走つて居ると云ふことを彼等は明かに自分の前に之を認めて參ります。是は天の神に對して濟まぬことであると云ふ信仰の觀念からして猶太人と亞米利加とは斷然緣を切る時が來る。さうすると云ふと昨日まで敵にした、あれ程までに滅さんとして努めた日本の帝國が今日まで義を行ふと云ふ自分と同じ似寄つて居ると云ふことを發見して參ります。故に目的の義と云ふものに對して同じである以上日本と猶太は手を握らうぢやないかと云ふことが出來て來る。猶太は義の目的を達しますれば、日本の義の方便を用ひて居る所に自から習ふて義の重んぜらるゝ世界と間もなく變つて參ります。君子は義に付き小人は利に付くと云ふことを我々は敎へられましたが今日はそんなことを敎へる學校は殆どなくなりました。學生は習ひましてもそれは世の中に行はれなくなつて參りました。義は棄てられ利が重んぜられると云ふ利益一點張りとなつて來たのであります。昨日飮んだ藥は今日初めて利いた。病の爲に飮んだのでなく生命を屠る爲に毒藥を飮んだと云ふことは子孫に對して申譯ない苦しみをしなければならんことゝ存じます。

まだ當地に於きましては二回程御話する機會があらうと思つて居りますが、今迄申上げました二大陰謀は無論まだ話は盡きませぬが、東に米國あり西に猶太あり此驚くべき强き又大きな民族が日本の

加へなければならんと云ふことを警告するのは是は國民の一人として當然考ふべき大なる義務で
ます。併し私の信ずる所では亞米利加はどうしても是は味方には出來ませんけれども、猶太人は
の敵ではないと云ふことを確く信じて居ります。亞米利加の國は利益を主にして方法は義と云ふ
を用ひます。猶太人民は義と云ふものを主として方法は利を用ひます。反對です。で亞米利加人
は慾を計るのであるけれども、口には世界の平和人道博愛自由と云ふものを竝べ立てゝ義の方便
ひて自分の利を圖つて居ると云ふことは、是は疑ふことの出來ない所であるが、猶太人はそれに
で反對して義の目的を以て世界を神の王國にしやうと云ふ尊ひ所の使命を有つて居る。其使命を
爲にどのやうなこともしなければならんと云ふので利の方便を用ひて居ります。勿論除外例もあ
又はさうでないやうな徵候も現はれ居りますけれども、兎に角其間に立つ所の日本としては、日
の目的が義であり、方法も義であるが故に二枚舌を使ふことの出來ない昔の武士のやうな融通の
ない一本調子であると云ふことは我々お互ひがまた注意しなければならんことであります。さう
と云ふと若し今後日本と猶太と及び米國と三つが殘つたとすれば、此三つがどう云ふ具合に爭ひ
なければならんと云ふ時に方つて、初めの中或程度まで平和の戰爭が始りまして、日本は義の方
取ります。唯獨り亞米利加は利の方法を取る。猶太人は義を目的にして利を方法とする、而て亞

云ふやうに變化するか私は餘り心配致しませぬ。是れ以上墮落することはありませぬ。恰も病で言ふなら腫物が腐れて膿汁が走り出る有樣でありますす膿汁が出ますれば非常に慘たらしく恐ろしく思はれますけれどもこれは旣に病の絕頂であります。今日日本國民の頭を解剖して見ますれば如何なる臭がするか、彼等の頭の中は腐れて居りませんか、彼等の頭の中は國民性を無視する所の忌むべき或る惡計が流れて居りはしないか、併し是は彼等の魂までも腐らして居る譯ではありません。腫物は濃汁が出ますけば後は段々に癒つて參ります、肉が出て參ります、元の如く健康に恢復します。實に日本人は不思議にも外敵の爲に滅ぶべき運命を有つて居る國民でない、內患の爲に死滅すべき國民でもありません。二千六百年間歷史が證明する如く日本は神の國である、天祐の著しく現はれて居る國であると云ふことは我々お互ひ今茲にくどく申しませんでも旣に御承知のことであります。猶太と亞米利加がどのやうに手を握りましても日本の國を滅すことの出來ないと私は信じて居ります。故に是等の敵に對しては心配しませぬ。併し濃汁が流れるのに打拋つて置く必要もありません。之を拭つて綺麗にしたら宜いぢやありませんか、藥があれば付けたら宜いぢやありませんか、若し切つて早く癒れば切つても宜いぢやありませんか。要するに再び早く元の健康に戾さんことを努めなければならん場合であります。故に今日我日本人に外國の禍に依て現はれつゝある所の總ての現狀に對して相當の處分を

ます。佛蘭西の國は毎年今は三十萬人づゝ人が減つて參ります。どんなにあせつても長持ちはありせぬ。英國は朝に愛蘭を取られ夕に印度を奪はれ、墺太利は何時の間にか亞米利加の手に渡るまでなり、埃及、土耳其南亞の戰爭が始まると云ふ風で、今まで英國の國旗の立つて居る所は太陽が沒ないと云ふて勝誇つて居つた英國がその英國本土すらも維持が難しくなつて今や四分五裂に終らんして居ります。誰がしたかと言へば猶太人の策略に乘せられ、あの強い世界無比の英國が遂に我々眼の前に憐むべき末路を遂げつゝある。もつと近き例は支那に於ける帝國の沒落、露西亞皇帝ニコスの悲慘極まる最期、是は皆猶太人の策略に乘つた結果であります。

然らば猶太人は刄を拔いて皇宮の奥まで行つたかと言へば、そんな馬鹿者は猶太人にはない。先呪はんとする國性の箇性を失はしむる樣なことを奬勵して、帝國は帝國の思想を王國は王國の思想奪ふ樣に仕向けて行く。天子に對する忠義の觀念を沒却せしめんが爲めに頻に民權と云ふやうなこを唱へて人民を煽て上げます。さう云ふ民權と云ふことは極めて日本人に歡迎されまして是でなけば文明國ではないかと思はれる程迄に民權自由と云ふことは今日まで非常な勢力のあつた言葉であ

云ふことも諸君御承知置きを願ひます。其學校の教授としてはベルグソンありアインスタイン博士あり其他世界に於ける有力なる權威ある學者が雲の如く集つて子弟を教授しやうとして居る。猶太人はパレンスタインを世界の中心にすることを努めつゝある。國は小さいですが、是は世界の中心として極めて値打のある場所であります。橄欖山のシオン大學は無論世界に於ける學府の最高權威として、日本の學者が獨逸に行つた如くに近き將來に於てシオン大學の門を潜らなければならん程に世の中が變つて來ませう。世界の中心を手に握つて、さうして四萬噸の戰鬪艦を瞬く内に爆發せしむる計略を以つて世界を横領することは彼等に取つては何でもありませぬ。さう云ふ樣な不思議なる民族が我々の敵であります。私は今迄猶太人を研究致しましてまだどうしても分らぬことが一つある。何であるかと言へば彼等國民の聯絡機關であります。どうして聯絡が出來るか日本人にも外國人にも到底分ることの出來ない聯絡性がある。猶太人はまだ〳〵鋭い所の力を持つて居て、若し之を感覺しますれば七感覺か八感覺であるも知れませぬけれども、恐るべき國民の感覺性を有つて居るのであります。恰も無線電信を發するやうに猶太人は國民的無線電信を放つてお互の聯絡を取つて居る。外の國民にはありませぬ。ありませぬから噓と思ひますが事實は否むことが出來ませぬ。其事實を猶太人は有つて居る。さう云ふ力は何處から來るかと言へば信仰の力であります。信仰の力は二千六百年間死なかつた。成程人間は死なないことはありませぬけれども、國民性が死なかつた。是は驚くべきことであり

ある。此山は基督が天に上つたと云ふ山であります。其山の上に非常な立派なる建物が二つあり
す。一つは獨逸のカイゼルが土耳其と密約を結びました時に土耳其皇帝が獨逸皇帝の爲に造つた宮
贅澤を極めた建築があります。もう一つは名前はまだ極つて居りませぬ、パレンスタイン大學又は
オン大學、又は猶太人大學とも申してをりますが、兎に角世界に於て第一と數へられる所の實力を
大學を今建築中である、もう殆ど出來て居ります。其校長は誰であるかと言へば英國の海軍をア
言はせたワイヅマンと云ふ有名な學者であります。此ワイヅマンは如何なる人であるかと言へば、
吉利が戰爭した時に、火藥の勢ひが獨逸に叶はないのでどうかして獨逸の火藥に倍するものを發明
なければならんけれども急に間に合はぬ。英吉利が斯う考へて居る時世界の學界に於ける第一の
者として名のあるワイヅマン博士は、遂に國を思ふ餘り一つの驚くべき威力のある所のスイセー
と云ふ爆發藥を發見しまして、之を英國の官憲に奉りまして之を實用に供して見ると非常な威力
つて居ります。英國はワイヅマン博士に向つて何でも上げやうと云ふ若し伯爵が欲しければ伯爵
げませう勳章が欲しければ勳章を、金錢が欲しければ金錢を君の欲する儘にやらうと云つて彼の御
嫌を伺ひました。彼は何をも求めず唯國の爲に盡したのみ、若し我に或ものを與へるより願くは
人に國家を與へよと云ふ注文を致しました。さう云ふ愛國心に富んで居るワイヅマン博士は學界に

仰に死ぬる程信仰に依て固つて居る國民であります。信仰を離すことの出來ない不思議なる民族であります。信仰のない歐羅巴民族がへト〳〵になつて居ります時に信仰に固つて居る猶太人は二千六百年の長い間の苦みを經て今自分の本國に居りつゝあると云ふことは春の朝、死んだと思つた木の芽が吹き出て來たよりももつと不思議な出來事ではありますまいか、千五百萬の人口は日本の人口の四分の一と言ふても宜いのですが猶太人は日本の一人一人と比較すべき民族でありませぬ。猶太人の一人は支那人露西亞人の一人とは違ひます。世界の思想界を握つて居る者は誰であるかと言へば先づ最近に於てカールマルクス、少し古くなつてベルグソン、此頃有名なアインスタイン博士是總て猶太人、財政に於ては言ふ迄もなく政治に於ては歐羅巴及米國の政治は全然猶太人の手にあると申して宜しい。日本國民がどんなに非難しましても否認しましても猶太人はビクともしませぬ。猶太人の富を以て世界の富を買ふならば世界の財産の四分の三まで買ふことの出來る富を有つて居ります。猶太人の頭で以て世界の知識階級を籠絡しやうとすればアインスタインが日本に於て最近どのやうな歡迎を受けて居るかと云ふことに就て御注目を願ひます。勿論アインスタインの相對性原理を私は僞とは思つて居りませぬ。兎に角彼れが權威ある學説を立てゝ日本人がそれを渴迎すると云ふ、それだけ猶太人の前に頭を下げることになつて參ります。

今朝も申しましたが、猶太人の本國であるパレスタインのエルサレムの都の東に橄欖山といふ山が

つて見ると中々それ所でない、打てば益々強く、仰げば益々氣高く日本皇室の威嚴は隆々として
に聳ね其國旗は今や彼等の眼の前に鮮かに又著しく飜へり其勢力は凰の翻るが如く世界に向つて
を擴げて居りますが、而し日本には世界を侵略しやうと云ふ野心はありませぬ。米國は盛んに日
呪ふて日本程世界侵略の野心あるものはないと云ふて或は西比利亞に或は北滿に其他到る所に日
の行動を非常に非難して居る。日本人はそれ程の野心は有ちませぬ、然るにも係らず、何故彼等
本の惡口を言ふかと云ふとそれは彼等の侵略を世界から憎まれない爲に罪を日本に被せて日本の
々々と云ふて聲を大きくして、其方に向つて世界の注意を拂はしめつゝあるのであります。日本
を伸して吉林省へやつて行つたことが、樺太の北半分へやつて行つたことが何れ程の侵略です
亞米利加が十八州を以つて立つたのが今日は四十八州三倍の侵略をやつて居る。啻に米本土に
ず全世界に其手を伸して居る。日本に人口が有り剩つて已むを得ず膨れ出ると非常に意味が違ふ。
要なしに人の物を盜むは非常なる罪惡である。日本人の發展は已むを得ません。亞米利加の發展
しの理由もございません。是は公平なる立場から見ましても明かであるが、何故然らば米國はそれ
に慾望を恣にするかと云ふと猶太人に乘せられて居る。猶太人が世界を統一して自分のものにし
と云ふことは二千六百年來のことであります、是は聖書に明かに書いてある豫言を奉じて彼等が

いと思つた時には既に病膏盲に這入つて療治仕難い時ではありませんか。日本の國民として斯の如く外國に對して何等の注意をしないのみならず寧ろ敵の術中に陷りまして敵に利用せられると云ふことは餘り醜いことではありませんか。以前は地圖一枚賣りましても賣國奴と云ふひどい目に合する程國民性を發揮した所の日本人が今日に於ては日本の國を自から賣るやうな者が少しも珍らしくない。之を以ても彼の思ふ儘に日本人の頭は變つて參りましたことが窺はれまする。驚くべき又憎むべき二つの隱謀が現に重なつて居りますと云ふことは人間の身體に肺病と胃病と二つが併發したよりもまだ〳〵恐るべき危險なる出來事であります。

米國一國を敵としましてもどうも勝目の少ない今日に於て此二つの力が一所になつて我國を狹擊しつゝある今日、日本國の運命は言はずして旣に明かであります。然るに不思議にも滅ぶべき國は未だ滅びず死ぬべきものが未だ死なず毒を飲まされても死ぬやうな氣色もない、腸をちぎられても斃れるやうな氣色のない一寸諒解に苦しむ不思議なる國が今米國及び猶太の眼の前に橫つて居ります。日本の運命は露西亞の如く脆いものではありませぬ。日本帝國の運命は支那の如く露西亞の如く希臘の如く薄弱なものではありませぬ。我等は萬世一系極めて神祕的なる、理外の理を以て立てる、萬國に無比なる皇室に對して子々孫々祖先傳來の信仰を有つて眞心を表して居りますが、外國人は左程に思つて居りませぬので日本の皇室は倒すことは樂だと考へて居りました。や

ることが出來るまでに成つて參りました。米國に行つて御覽なさい、耶蘇教と云ふ看板が何處に掛つ
居ります。米國宗と云ふ看板がうるさい程掛つて居る。靴屋の看板を見ても米國化、何方を向いて
アメリカニズム、アメリカナイゼーションである、日本で流行りました安全第一と云ふ樣な言葉を用
る如く米國の各雜誌各新聞紙が文化運動は詰り米國化運動と云ふ文字を以て改めるまでになつて參
ました。今は米國と云ふ國は基督教と云ふことを口に言はずして却て米國宗と云ふものを人々に致
て居ります。是が爲にカリホルニアでも日本の牧師が集りまして米國の機嫌を取る爲に米國で生れ
所の日本人は日本の臣民ではないから日本臣民の義務を果すことは出來ないと云ふやうに亞米利加
の鼻息を伺ひまして、基督教を傳へるより日本人を如何にして米國化するかと云ふやうな米化運動
努力しつゝあると云ふことは、實に我々が非常な注意を以て見なければならん所の出來事でありま

布哇に於ける日本人の小學校では日本語を使ふことを許しませぬ。傳道に國境なしと云ふて斯の
く宣教師は日本に這入つて來ますけれども、勞働に國境なしと言つて日本の勞働者は米國の裏門よ
も這入ることが出來ませぬ。宣教師が日本に這入れるのに何故勞働者が米國に這入ることが出來な
か。一方に於て勞働は神聖なりと說いて居る、其神聖なるものを何故迎へませぬか。譯が分らなく
る程、まるで夢を見て居る樣な程複雜なる嘘をついて我々日本の國及び人民を呪ふて居ります。其

督教が日本に行はれない大なる理由であります。基督教が毎年々々衰へつゝあると云ふは是が爲であります。實は基督教じやない、基督教は其やうな安つぽい宗教ではありませぬ、日本に歡迎せられないやうな卑しむべき醜い所の宗派ではありませぬ。日本は義を重んずる點に於ては何處の民族にも敗けませぬ、基督教は之を奬勵して居る。さう云ふ方面の基督教を說かずしてまるで違つた方面に之を說いて日本人の頭に宗教に國境なし傳道に國境なしと云ふ觀念を植ゑ付けんとした。宣教師が日本に這入つて來ます時に宣教に國境なしと云ふて大手を振つて玄關からやつて來た。其當時官憲が之を正面より拒んで門戶を締めて掛ると云ふと鎖國攘夷と云ひ惛むべき不法だと云ひ、日本の國は頑冥度し難い野蠻國だと云ふやうな惡口を世界に向つて發表したのは何國でありませう。そこで仕方ない、世界の舞臺に對して顏出が出來ませぬので、宗教に國境なし傳道に國境なしと云ふて大手を振つて這入つて來た宣教師を日本に入れた。然らば彼等は果して耶蘇教を教へたかと云ふと耶蘇教を教へなかつた。何を教へたかと云ふと私が先に申したフリーメーソリーと云ふものを教へた。現に其證據には米國で今まで耶蘇教と稱した所の雜誌が今日はそれを殆ど言はなくなつて來た。耶蘇教の傳道會社の機關雜誌が耶蘇教と云ふものを書く代りに亞米利加ナイゼーションと云ふ言葉を用ひて來ました。傳道と云ふ代りに米國化と云ふ文字を用ひて來ました。基督教は米國のものでありませぬ。米國と云ふ國は自分の思ふことが七分通り出來ましたので最早や大丈夫と思つて其本音を人の前に大袈裟に發表す

奬勵致しました。是は知識を世界に求めて居る者を救濟する所の宗門である。日本人は何の考な
敎師の言ふ儘に、其看板に僞のないものと思つて見に參りまして羊の看板で賣られたものは狗の
あります。肉ならば何でもありませぬけれども、毒？でもありますまいけれども、羊の肉と云ふて
肉を賣られたのは買つても非常に迷惑致します。基督敎と云ふ金看板を掲げて是は世界の宗敎で
と、天地の造主ヱホバの神を信ずると云ふ形からうつかり信じた所が、其看板は僞りで、腸に
だものはフリーメーソンリーと云ふ結社の主義でありました。隨て耶蘇敎と云ふと日本人は忠君
の思想がないものゝ如くに御考へなさる、耶蘇敎と云ふものは國家觀念のないものゝ如くに御考
さる、耶蘇敎と云ふとデモクラシーを實施するものゝ如く御考へなさる、耶蘇敎と云ふと博愛を
ては敵と内通するやうな所謂融通の機關である。自由と云ふものを説いて我儘を奬勵する誠に重
敎である。人道と云ふ看板を掛けて不人道を自由に行はしめる極めて巧妙に出來て居る神の國の
であると思つて我々は基督敎に對して種々なる誤解を持つて居りましたが、これは全然謬りであ
す。基督敎なるものは純然たる帝國主義であります。利益一點張の或國民とは決して反りの合はな
を重んずる所のもので基督敎の十字架は犧牲であります。愛を行はんとする宗敎をば利益一點張
リーメーソンリーと姿を變へさして日本人に注ぎ込んで仕舞ふ、義を重んずる所の日本人は義を
ぬ所の宗敎を信ずる譯に行きませぬので、

である、あれはあゝであると、彼の二枚舌を明かに眼の前に示しまして彼等の反省を求むるが宜しい。吾々は、米國は嘘をつかぬ國、ワシントンは嘘をつかない爲に大統領となつたと言はれる程立派な人と思つて居た。然るに今日彼の國の態度は如何であるか、二枚舌三枚舌を以て我々に當つて居る、吾々は何故に之れを責めることが出來ませぬか、我々はワシントンは嘘をつかない人だと言つて櫻の木の話をして喜んで居つたことがあるが、昔の武士は武士に二言なし、武士は悉く二枚舌を使はない、生命に賭けても使はなかつた。何も遠き五千哩の先の亞米利加まで例を求むる必要はありませぬ。櫻の木を伐つて嘘を付かない位のことは日本の子供の中では當り前である。何故これを好んで殊更にワシントンを例にするか、米國崇拜と云ふことはペルリ開國以來の方針である。基督教を濫用したのである。昨晩も或所で申しましたが米國には基督教なし、私は基督教の傳道者として明言します、米國は建國以來基督教はありませぬ、「フリーメーソンリー」であります。フリーメーソンリーは猶太教を裏返した所の、政治を加味した運動であります。是は一寸分り惡いのでありますが、耶蘇教とは全然反りの合はない所のものであります、宗教でもなければ政治でもなければ倶樂部でもなければエタイの分らぬやうな祕密結社であります。それを利用して日本の國を呪はんと今日まで陰で巧妙に努力致して居ります。而もフリーメーソンリー、之を日本に持つて來ますれば日本人は受け容れませぬ。それで基督教と云ふ立派な宗教の看板を掛けて、之を諸君は信じなければ異教國であると言つて日本人に

る今日に於て、而も一方に於て横暴極まる過激派や非人道の閥が白晝横行して居る、殊に我々は義重んずる國民として默つて居る譯に行きませぬ。何時か之を懲さなければならんと云ふ時期が必ずる。支那を懲す時吾人は正義人道を重んじて起つた。露西亞又然り。今日に於ては日本人の頭に義爲に戰ふと云ふ考は非常に薄くなつて參りまして、却て義を重んずる精神に富む軍人に對して甚し侮辱を加へつゝあります。是は軍人一人の爲めとすれば何とも申しませんけれども、延て日本の國となる、又國運にかゝはることに成りはしないかと思ふ。考へて見れば恐しくなります、今や一方にて之を利用せんとして居る二人の敵を明かに認めて居る以上吾々は敵の手に乘せられて居つてはなません。此二つの而も日本の皇國の運命を呪ふ所の二大隱謀が曩にも申し上げました如くに、つい前に北は哈爾賓を中心として露西亞系統の猶太人が活動し、南は上海を中心として米國中心の猶太が活動し、尚其上に米國自身をして更に日本を二重にも三重にも包圍して日本を苦しめつゝあるとふ事實を今日學びましたならば、我々日本國民としてゾッとするやうな氣持がお互にすべき筈であます。ゾッと冷汗を流してそれで事終るならば易いけれども、それだけでは濟むものでない。我々徒らなる憂は敵に對して何の痛痒にもなりませぬ。彼等の計る所に我々は先んじて之を逆襲するまにお互の心掛と準備とが必要であります。如何なる方法を以て逆襲するかと言へば米國に對しては

米國は猶太と同じやうに世界侵略の目的がありましたが是は初めの中は隱して置きました、穩して置いて猶太人を利用しやうと思ふて居ました。猶太人は亞米利加を利用することが得策であると考へてお互に利用され利用しつゝ段々歩を進めて居りました。どうも猶太人は世界を統一するだらう、どうも亞米利加は世界を侵略するだらうと云ふ、是は二人で爭ふべき時でないと云ふことをお互に考へましたので體裁よく手を握つて共に行かうそして利益は山分け卽ちベンカル灣を中心にして地球を半分に割り東の方は米國、西の方は猶太と云ふことにしやうと云ふ密約を結んで居る。そして實際に其通りになりつゝある。此二つの希望、隱謀が偶然一致しまして今ではお互に手を握つて居りまするけれども、日本の國が若し彼等の手に渡つて滅ぼされました後に、此二つの國が必ず爭はなければならんと云ふことは今から明かに分つて居る。然らば日本の國は近き將來に於て潰れるかと言へばそれは別問題であります。

彼等は日本の國を露圖の如くに滅茶々々に潰さうと考へて居りませぬ、唯日本人の頭の中から忠君愛國の思想を取つて仕舞つて誇り日本人の誇とする國民性として尊ぶ所の大和魂と云ふものを腐敗さして仕舞へば、それで自分達の思ふことが成ると考へて居ります、此大和魂を打壞することに彼等は努めて居ります。軍閥攻擊が盛んに始つて參りましたが、此邊に關係はございますまいが、我等は心浮れて騷ぐ時でありませぬ。全世界に向つて發展しなければならん筈、又發展すべき使命を有つて居

たことでありまして間違ひない事實であります。是はただ一つ會社の話で米國には斯の様な會社
だ澤山あります。兎に角亞米利加に於ける猶太人は世界大戰に向つて非常なる貢獻して居る。善
別です。故に猶太人なかりせば世界大戰も出來ず、世界大戰がなかつたならば平和會議もなくあ
前絶後と云ふやうな大芝居は出來なかつたかも知れませんけれども、猶太人は此世界大戰を起し
世界の平和會議を起し、次で華府會議を起し又今日に於ては歐羅巴に於て種々なる所の國を動
て彼等の思ふ所をピシ／＼將棊の駒を打つ如くに進めて居ります。尙猶太人は今迄は亡國の民と
彼には何にも注意を拂はなかつた程惨めな民族でありましたけれども、三年前にパレスタインに
猶太人の獨立國を認むると云ふ宣言文が英國から發表せられまして、最近に於て是が批准せられ
て、今は猶太人と言へば決して亡國の民でない、國は小なりと雖も獨立國を以て立つて居る國で
と彼等は世界に向つて言はれるまでになつた。勿論英國の委任統治の下にあるが、ロバートサミ
卿は前申す通り猶太人であつて又英國の貴族であります。のみならず亞細亞にては印度大使のミ
卿及彼斯の大使もさうであります。アフガニスタンもさうである、埃及に居る者もさうである。
スタインを中心としてあの方面に於ての英國の官憲は全然猶太人の手にあると云ふことは非常に
しなければならんことであつて而も、其猶太人はあの地方だけで滿足することが出來ないで更に
に向つて恐るべき隱謀を企てゝ居ると云ふことは度々申上げた通りであります。

持つて行つては損をする壞れもするし面倒でもあるし費用も掛る、どうせ本物の戰爭をするのではありませぬから、成べく手數のかゝる、費用のかゝるものは持つて行かぬ。それよりも賣つた方が利益になる。今の鐵工所を通して一萬九千門と云ふ莫大なる重砲を英佛兩軍に向つて提供致しました。一萬九千門と言へば非常に多い數でありますが米國は同じ砲は一門も戰爭に持つて行きませんでした。而も米國に於ける唯一の今の會社が聯合軍に向つて供給した砲彈の數だけでも御話申しますれば、前後四年以上かゝつた彼の戰爭を通して使つた砲彈全部の七分の一は亞米利加のホテメンスチールカンパニー一會社で拵へた砲彈であります。これについても面白い話があります。卽ち彼のシユワルツは更らに陸軍のキツチナー元帥の所に參りまして元帥閣下何か御注文はありませんかと伺ひました。其時に一萬九千の砲と砲彈全部の七分の一に當る莫大なる注文を受けました。キツチナー元帥は初めからさう云ふ注文は出來ないものと思つて居りましたので三百萬發の砲彈を半歲の間に造つて呉れと注文致しました。さうするとシユワルツは確定してから笑ひながら一箇月で拵へて御目に掛けませうと云つた。尤も其當時同會社の砲彈製造力は正しく一月の內に三百萬發の製造力がありました。英國のキツチナー元帥は全英國で半年かゝつて三百萬發造ると云ふことすら疑つて居りましたのに米國では僅に一會社が一箇月三百萬發を拵へて見せるだけの力を持つて居つたのです。是は米國が英國と戰爭しても敗けないと云ふことを祕かに言つて居り、斯う云ふ事實はシユワルツに關係したものより聞い

ふとどうも我々に取つて具合が惡い、今心配して居る、英國には目下五十隻の驅逐艦があるが尙は
後二十五隻欲しいと申しました。シユワルツは極めて輕く請會ひました。英國では一年以上かゝる
も難しい注文であるから、海軍卿もシユワルツの言を疑ふたので、それでは萬一時期を失すると
間に就て三千弗の罰金を取るが宜いかと尋ねますとシユワルツは相變らず極めて無雜作に、宜しい
引受けた、さうして自分が本國に歸ります前に電報で直ちに九百人の優良なる職工を募集し、之に
應する材料を整ふべく命令しまして、自分が米國に歸つて來て三日經たない内に二十五艘の軍艦の
骨が全然皆完全に据へられたと云ふ程まで彼等は機敏なる行動を取つて、其結果二十五隻の驅逐艦
全部半歳の内に出來上つて終ひ、直ちに加奈陀政府に引渡された。さうして其利益は三百萬弗に當
ます。罰金を取られないだけ利益全部之を九百人の職工に提供した程彼は利益を得て居ります。斯
云ふ大きな供給をしたと云ふことは局外中立として爲すべきことでございません。中立と云ふこと
そんなことを爲すべきものでない。然るに米國はどうしたか。時の官憲は之に對して何等の手段も
りませんでした。當時の國務卿ブライアンがシユワルツに向つてお前そんなことをすると局外中立
宣言に少し抵觸するから注意して貰はねば困ると云ふて注意は致しました。其時はシユワルツは自
が責任を持つから暫く御待ち下さいと、答へた丈けである。斯う云ふやうなことは啻にこれ一事ば

氏の內閣が倒れましても新に內閣が出來ましても、英國の方針は猶太人の胸三寸にあると云ふことは動かすことの出來ない强き事實になつて參りました。さう云ふことを一々詳しく申上げますると夜を徹しましても盡きませぬが、此二つの民族が斯の如くに我日本の運命を呪ひつゝあることを知ります時に日本の國は恰かも敵の地雷火の上を步くか如き心持が致すのであります。

戰爭が始りました當時米國が戰爭に參加しなかつたと云ふことは先に一寸申しましたが、是は必ずしも米國一國の利益算段からばかり出たのではありませぬ、更に時の國務卿は大統領を引止まして暫く戰爭に參加することを御止め下さいと云ふて賴んだことがある。それは何故であるかと言へば其戰爭に於て非常な利益を得る所のものは大きな商人であると同時に歐羅巴のはもう少し戰爭で虐めなければならんと云ふ希望を有つて居る、機會を待つて居る所の民族卽ち猶太人があつて斯く米國の參戰を延ばさしめたのであります。其實例を申しますれば亞米利加のホテーメンスチールカンパニーと云ふ鐵工所、是が猶太人のものでありまして社長はシユワルツと云ふ、此男が戰爭が始まると倫敦に飛んで參りまして、時の海軍大臣フッシャー卿に會つて何か御注文はありませんかと尋ねました。フッシャー卿は好い所に來て呉れた。實は英國の海軍には二十五艘の驅逐艦が必要であるがどうだ、今年中に出來るか、二十五隻と申しますれば隨分大きな數であります。それが今年中に出來ないと云

爭はれぬ。之を見まして日本の政治の進歩である、社會の進歩である、文化運動の進歩であると
て人々は譽めたゝへて居る。斯ふ云ふやうな運動が何時の間にか行はれまして我々大和民族の國
が白蟻に食ひ盡されるやうな具合になつて居ります。病菌の爲にやられて何時の間にか死滅する
な禍を受けて居りますけれども、日本の國は幸ひにして露西亞の如き根底の薄弱なる國でありま
でした。我々の國は人民の造つた共和國でもなければ民國でもなければ、人民本位にする所の國
もありませぬので下の方が隨分動くにも拘らず日本の國體は微塵搖ぐことなく極めて落著きのあ
定を我々に示して居ります。

是は我々國民と致しまして誠に有難き天祐でありまして日本の國を滅さんと努めつゝある二つの
國の極めて驚きつゝある所の事實でありますが、併し敵は未だ眼が醒めて居りませぬ。もつと日本
國を呪はなければならんと云ふ所から色々の方法を講じて居つて先刻申上げました如くに、先般
皇太子殿下の御旅行遊ばされると云ふことに就てこれは猶太人の豫ねてから待ち設けた所で彼等に
り頗る喜ぶべき機會を與ふるものでないかと云ふことが私の頭に浮んだ不審であります。何故なら
英吉利帝國は全然猶太人の [illegible]

又感心するが如き方法を講じて我々日本國民を欺いて居ると云ふことを私が近頃に於て發見致しました。それはどう云ふ方法であるかと申しますれば、日本人は外國の言葉だと云ふと極めて之を尊重致します。勞働は神聖なり、時は金錢なり、如何にも立派なる金言玉語のやうに思ひまして之を左右の銘として居ります。その內に段々と日本人の特有なる大和魂が崩れつゝある。

時と云ふものは金錢を以て律すべきものでないに拘らず斯の如くにして絕へず拜金宗を敎へられました日本人はそれ程錢に汚ない國民でない。

勞働は神聖なり、額に汗を流して自分の飯の爲に働かなければならんと云ふことは人として恥ずべき墮落であります。然るに勞働は神聖なりと云ふて煽て上げて無學なる勞働者を騷がしめると云ふことは是は我々識者階級の方々は大に考へなければならんことであるにも拘らず進んで思想を善導する所の人達が先づ自分口を開いて同じやうに格言と云ふものを人々の前に傳へて居る。勞働は神聖なり坂の下に立ちん棒を摑へて勞働は神聖なり、近頃東京の電車に乘つて見ますと昔は軍人に對して席を讓つた、今日に於ては職工人足が汚ない足で以て軍人の靴を踏んでこん畜生と言つて反抗するやうな時代になつて參りました。私は軍人を擁護するのではありません。餘り崩れ方が烈しい思ふことを皆さんの前に申すのであります。然らばそれ程迄に勞働者を煽て上げ中流階級の權利が伸びましたならばどれ位日本は幸福を得るでありませう。それ以來日本は日に〳〵不穩に陷りつゝあると云ふことは

亡國の民族でありました。是が米國を利用するといふことが此際極めて好いと云ふので米國に大地を据へました。猶太人は米國を利用する爲に米國を拵へると云ふ迄に深いたくみを有する民族りまするが今や同じ様なる深き巧みを以て我國に向つて或運動を始めて參りました次第でありまさうして又一方に於て露西亞を利用すると云ふことは彼等に取つては非常に樂でありますし又重る方策でありましたので露西亞に革命を起して瞬く中に之を轉覆しポートランドを獨立せしめ、ライナ、フィンランドも同じやうに獨立せしめまして露西亞と云ふものを到底恢復することの出い惨めなものに致しました。是は露西亞が猶太人に對して非常な虐待を致しました、其感情を酬ありますけれども、兎に角彼等が露西亞人を利用して今日の過激運動、危險思想運動を起さしめ云ふことは我々の眼の前に明かに見得る事實であります。斯くて彼等は過激派を利用して哈爾賓を心に北より出で亞米利加は一方上海を中心として南より襲ふ。一方は危險極まる亂暴な主義を吸して勞働者を煽て上げ他方には、デモクラシーで特殊階級に受の宜い主義を吹込みまして、日本人中流階級を籠絡し更らに自由、民權、博愛、平和、さう云ふやうな看板を掲げまして、知識階級及勞働階級を騷がして日本と云ふ國がどうしても引つくり返らなければならんやうにして居ります。は亞米利加人でもなければ、又猶太人でもありませんけれども、亞米利加

る。ウキルソン大統領もハーデイング大統領も悉く左樣言ふて居る。尤も華府會議は、さう云つた樣なことを代々の大統領はどうしても一遍やらなければならんことになつて居る。居るが兎に角米國は現に斯ふ方針を以て我國を呪ふて居るのであつて、米國が日本に對して親切な行ひの有りさうな筈がない。若し有つたとすればそれは魚を釣る時に針の突に餌を付けると、魚は誠に甘まさうであると思つて食ふとそれは自分の腹に針が引掛つて已れの生命を捨てる道具となつて仕舞ふ。痛ひと思ふて氣が付くともう遲ひ。どうやら日本が今さう云ふ具合になりつゝある。此恐るべき米國の陰謀が日々刻々我々の前に行はれつゝあるが、更に之に一倍する所の猶太民族の運動が恐るべき勢ひを以て日本に迫つて居ります。

猶太民族は何故に日本に對して敵對行動を取るかと言へば彼等は世界を統一して自分の國にしやうと掛つて居る。其世界を統一するに就ては世界を猶太の帝國にしなければならん。帝國が二つも三つもあつては自分の國の沽券にかゝはりますので、世界に唯一つの帝國を造らなければなりませぬ。最近の事實はずつと我々の眼の前に全世界の中央帝國が廣々とした廣い所に擴かるやうに擴つて參りました。今迄は氣が付かずに居りましたけれども、段々今日に於て猶太人を頭に入れて見ますと云ふと各所に猶太人あり、今日文明國强國と稱するその裏には猶太人があつて世界を自分の思ふやうに振舞つゝあると云ふことが我々の眼で發見せられるのであります。其猶太人は自分は國のない所の憐れな

大戰以前よりまだ／＼複雜なる所の驚くべき混亂が世界各國至る所に湧きつゝあると云ふことはの新聞が之を證明して居ります。東半球、西半球を問はず何れに平和がありませう。最も平和でべき日本に於てすら思想に於て經濟に於て或は其他社會百般の方面に於きまして隨分醜ひ迄に混致して居ります。さう云ふのは何處から來たかと云ふと卽ち世界大戰の結果である。其世界大戰處から來たかと云ふと之を二箇年半の間放任して居つた國が先づ責任を負はなければならんと正道の立場から言はなければならん。其世界の平和を攪亂した國は今申しました米國であります。ルソンは世界の平和の神の如く日本の新聞で褒めて居りました。餘り横暴を振舞はれたのを見まウキルソンを憎むやうになりました。譽むるにも憎むにも無定見、無定見の判斷を以て昨日は人め今日は人を憎むのである。ウキルソンの行動は我々には譽むべき所は更にない。政治家として許でありますが、さう云ふ人が主權者となつて政治を執つて居る。米國の政策が今日日本に對しう云ふ風に發展しつゝあるかと云ふと、どうしても日本を潰さなければならんと云ふことになつて居る。然るに日本人は開國の恩人であると思ふて米國を崇拜することばかりに努めて居るので場合に頭から一と押しに押し潰す譯にも行かぬ、どうしても日本を倒すことが出來ない、それでを輕減せしめて詰り自分の足らない所を補ひ、日本の利する所を薄からしめんとして色々な方法

お祭騷ぎをして出掛けて行つたが、それ程世界の平和人道の爲に努めて居れば何故戰爭を始まらぬ先に防壓しなかつたでありませう。歐羅巴の國が腰が立たない迄に弱り再び起き上ることの出來ない迄に混亂を極めまして、もう絞るだけのものを絞つた後に亞米利加が權利を獲得せんが爲に大袈裟なる平和條約委員を選んで大統領まで自から佛蘭西に向つて出掛けたではありませんか、而も平和條約文は全然ウキルソン大統領の思ふ儘になつたのであつて名は條約會議と申しますが、實は米國の發案に向つて唯批准するだけに過ぎませんでした。利益配當と云ふものは資金の高に依るものと我々は思つて居りました。世界大戰に對して一番株數の少ない亞米利加が莫大なる高の、比較にならないやうな思ひきつた利益を貪らうと云ふことは、是は我々商業上のことは知りませぬけれども、餘り人道に違反した非常識なる行ひではありますまいか、若し是が日本がやつたならば日本はどれ程歐米諸國から惜まれるでありませう、米國がやつたから御無理御尤も、それに相違はございませぬと誰一人ウキルソンに對して異議を申込んだものはございませぬ。硬骨ルーズベルトはいたくこれを憂ひまして、確に米國は此度非行を働くに違ひないと思ひまして、彼は自分の子供の葬式を放つて置き、直ちに佛蘭西に赴ひてウキルソンを牽制しやうと努めた時に彼れルーズベルトは毒殺せられました。此驚くべき事實もつい近頃のことのことであります、又た世界の平和條約と稱して之に參加したものは相當に權威のあるものばかりでありましたけれども、世界の平和は決して成つて居りませぬ。却て大戰以後は

る費用を使つて出動致しましたけれども、佛蘭西戰場に參りまして實際の戰爭に參加して血を流
を製いた所の數を御覽下さつたならば思ひ半ばに過ぎるのであります、試みに比較を取つて見ま
此度の戰爭に於て敵も味方も死傷者は總員數の平均四割二分に當ります。獨逸の方は四割五分に
ます。殆ど半分が死んで居ります。然るに米國の兵隊の損害の數を百分率を以て當箱めて見ます
ふと米國の損害は僅に二分一割の五分の一程である、而も米國の軍隊には一門の重砲も持つて居
せぬ。唯百九門の十五珊野砲があるばかりであつた。それがどれ程の働きをしたかは自分は分ら
ぬが、其野砲も參戰七箇月を經て始めて戰場に送りました。飛行機は一千二百三十五臺出しまし
れども、それは宣戰を布告して十六箇月目に送つたので實際に獨逸の戰線を一つも飛びませぬ。
で戰爭が出來たと言へば是程樂はありませぬ、我々は戰爭と言へば生命掛のやうに思つて居り
が、亞米利加人はさう思ひませぬ。それで眞面目な參加と若し諸君御考へなさつたならば後ろた
て赤い舌を出して笑つて居るものか太平洋の向ふ岸にある筈です。其亞米利加が斯の如く戰爭た
に致しまして火事場泥棒のやうな働きをして莫大の利益を貪つて隨て火の消えた頃に唯勢揃をし
祭騷ぎをしたに過ぎざるに拘らず、平和會議に向つてはどのやうな權利を振廻はしたかと言へば
倍の權利を主張して大袈裟なる出しやばりをしたと云ふことは既に御承知のことでありませう。

望まない國はありませぬ。彼程壓制を好む國はありませぬ。米國は斷じて共和國でない、非常に憎むべき壓制なる君主國であります。今日に於ては而も看板に掲げる所に依りますれば正義人道博愛自由餘り立派でありますので田舍者は口を開いて見て居るが、口を開いて居る間に彼の乘ずる所となつて恐るべき禍を被むることになつて來ます。其亞米利加の先達の世界の戰爭が行はれました時に何が故に二年半參加しなかつたかと云ふことは怪しむべき疑問であります。彼は曰く俺は局外中立である。然し乍ら後には世界の平和を愛するが爲めに及を執りました。其位平和を愛するならば何故に米國は、塞爾比亞、墺地利の間に立ちまして、此戰爭を未前に防ぐことが出來なかつたのでありませうか、始まる時には知らん顏をして、始まつても之を餘所に見て戰爭が段々激烈になると局外中立を宣言して我は公正なりと言つて居りながら右手では獨逸及び墺地利に軍需品を供給し左手では英佛の兩國に向つて驚くべき數量の武器を供給した。其精神はどうであらうと其事實に於て米國の行動に對して從つて精神に對して非常な疑念を抱かなければならんことになつて參りました。當時二年半米國が戰爭に參加しなかつたと云ふ譯で米國はどれ程の利益を得たかと云ふと五百億萬弗の利益を得ました。戰爭に若し參加したならば悉く五百萬億弗損することになる。それを參加せずして却て利益を貪りまし差引一千萬億弗の有形無形の利益を貪つた後に彼等は詰らない理由を楯にして大戰に參加しました。火事の消れた頃に喞筒を持ち出して來ました。米國は兵隊を二百萬送りました、爲に大騷ぎをして莫大な

る所がないと云ふことを發見致しまして華盛頓會議を開いて日本に取りましては非常に割の惡
決議をして吳れました。米國に取りましては誠に都合の好い結果となつて參りました。それ以上
げる必要はありますまい。大きな聲で申しますれば國際問題を惹起し直ちに當局者の怒に觸れも
けれども米國が日本に對して敵對行動を採つて居ると云ふことはペルリの開國以來のことなので
て今更珍らしきことではありませぬけれども、日本は此憎むべき外敵に對して相當の準備と覺悟
なければならん問題と自分は信じます。

由來外國の人は巧言令色でありまして非常に人付會ひの宜ひものでありますから日本人は兎角
れます。一本調子である所が往々敵の乘ずる所となつて遂に已れを禍するばかりでなく國を禍す
合が幾らもあります。今日米國の惡口を申しますと非常に機嫌を惡くする人がある。日本人の中
て甚だ怪しむべき又解し難い所の現狀でありますが、是は米國心醉の結果として已むを得ませぬ
それでは日本の國に對する義務が少し缺けはしませんですか、そこで私は思ひ切つて總てのこと
さんの前に打明けますが、此米國が斯の如くして日本の國に禍を釀しつゝあるばかりでなく彼は
の平和を亂さんとして努めつゝあると云ふことは私は今晩の機會を利用して少しく御話をしなけ
ならんことでありまする、他の國からは正義の國と唱へられ自分では耶蘇敎國であると云ふこ

の作用であると云ふ報告が發表されました、そこで丁度其當時の新聞を繰りまして見ますと、當時エジソンが或山の中に引込んで居りまして自動車王のホルオンと云ふ人を伴ふて無線電信の或秘密なる試驗をして居ました。外には誰も參りませんでしたが、其外に誰か行つたかと云ふとウヰルソン大統領が書記一名を連れまして參つたのであります。これは地中海で米國の船が感受時の情況であります。今から思ひ廻はしますると云ふと色々な判斷が付いて來ます。そこで私は電氣に付ては全然の素人でありますから詳しいことを申しますと荒が出ますけれども、兎に角日本の四方を包圍する所の太平洋沿岸に於ける驚くべき威力ある無線電信を裝置して萬一の場合に思ふ存分に電力を發揮しましたならば恐らく日本の海軍は何等の働きもせず無用のものに終りませう。啻に海軍ばかりではありませぬ。戰はずして手が痺れ敵の擊出す彈丸の下に兜を脫がなければならぬ慘めなる結果を來しはせぬかと云ふ憂は我々に浮ぶことでありますが、更に彼は此上に驚くべき大艦隊を拵へました。つい近頃のことでありますから諸君も既に御記憶のことゝ思ひますが、大きな艦隊を拵へて見てどうしたかと言へば、パナマ運河を開いて大西洋大平洋兩艦隊を一つにして大平洋に於きまして何處かの國をどうかしやうと云ふので厖大なる艦隊を拵へました。用もない而も船ばかり造つて日本を威した、それは卽ち米國であります。それに威かされて日本も之に相當すべき八六艦隊を拵へたと云ふことは既に御承知のことであります。けれども利に聰き所の米國人は徒に無用なる尨大なる艦隊を拵へては無駄だ、得

ます。其當時私は同じやうに軍憲に向ひまして、どうも米國は無線電信政策を以て日本の運命を
んとしつゝあるのではないかと云ふことを申上げました。所がそれは少し穿ち過ぎて居るだらう
ふ御話であつた。然るに三年ばかり前にこんなことがありました。米國の太平洋沿岸に走つて居
車が突然止つたことがあります。米國の新聞を見、ロイテル電報を見ますと火星からの電波の影
あると云ふやうな話でありました。そこで向ふには火星との通信が出來ると云ふ意見も發表され
たことがありましたが、それが二度重つて來ると云ふと少し疑はざるを得なくなつて來た。現に
の第二回目に起きましたのは地中海を航行して居りました向ふの無線電信專用船であつた。どう
電波を送つて居つたかと云ふと其時代の送電力は普通は僅に一萬八千乃至二萬キロワツトであつ
れども、火星の通信と言はれて居る其驚くべき電力は實に十五萬キロワツトであります。其十五
ロワツトの電波をどうして設備しどんな設備を以て送つたかと云ふに、これは學理上無論出來な
とでないけれども、早急の場合にそんな準備の出來るものではない、これは矢張り平生から充分
意がしてあつたことを疑はざるを得ないので、詰り或驚くべき威力を示さんが爲に、威嚇せんが
米國の當事者が火星の通信と稱して無線の威力を試驗して居つたものと私は判斷致しました。
とを人にも語り又文にも綴りましたが、どうです最近に於て米國の通信に依りますと火星の通信

んだ程彼等は勢力を普及して來ました。或人はアラスカには金がありサガレンの奥にも富源があり西比利亞も亦然り滿洲亦然り富を重んじ富を以て立つて居る所の米國としては當然やるべきものである。と何等の疑も御持ちにならん方もありますけれども、其裏の方を發いて見ますれば、驚くべき隱謀が秘せられて居ると云ふことは我々今日之を人の前に公言し得るまで彼等の計畫は進んで居るのであります。更に南の方には比律賓より布哇乃至墨西哥と彼等は手を伸して居る。亞米利加が手を伸して居る所を印をつけて見ますと云ふと太平洋の沿岸は全部亞米利加の勢力範圍であります。其勢力範圍の中に極めて邪魔物が一つ横つて居りますので米國としては此邪魔物を排除すると云ふことは、彼が目的に到達する爲に當然爲さなければならんものである。故に米國は日本に對して惡感情を持ち又敵意を有つて居ります。已れの目的を果さんが爲に邪魔するものを除けなければならんと云ふ所からして、彼等は非常に日本に對し敵對行爲を採つて居ります。寧ろ日本を破壞せんとして種々なる策を講じ各種の方面に於て我日本の運命を呪ふが如く努めつゝあるといふことは、最近の事實華盛頓會議を以て見ましても分ることでありませう。地形に於て小さい日本の國を包圍して居る故に萬一の場合に糧道を絶つと云ふことは出來ませう。更に其上に彼等は無線電信政策を實施すると云ふ他に出來ない吾々から見れば恐るべき、敵であります。無線電信は大砲の如く音はしませぬ、爆彈の如く破裂しませぬけれども、遂に驚くべき恐るべき威力を以て我國を禍ひするに到るべきは既に言ふ迄もないことであり

米軍の參謀將校のモーリと云ふ人が國へ歸りましてから報告書を書いた。其報告の中に斯の如
とを言ふて居ります。『我米國は當然爲すべき過激派討伐を日本軍と共にせず
却て過激派を增長せしむる利便を與へた』。

之に對して何人も異論のないことでありますで、それ以來私の米國に對する今迄の信用は全然
して彼の行動に就て祕密なる所の採り方をやつて居りましたが、段々步を進めて自分の思ふ所に
で參りますと云ふと豈圖らんや米國の後ろには更に又猶太なる一つの大きな民族を控へて居る
ことを發見した。それは哈爾賓に行きましてからであります、猶太と米國の二つの隱謀が兩々相
て今や日本國の運命を呪ひつゝあると云ふことに遂に結論したのであります。

是は議論でありませぬ。批評でありませぬ。眼の前に現はれて居る事實を明かに申上げるので
ます。

如何なる計畫を以て彼等は日本の運命を呪ひつゝあるかと言ふに先づ米國から申しますれば、
利加と云ふ國は東の方大西洋に向つて門戶を開いて居る國であります。太平洋は裏に當ります。
米國の發展すべき必要があるならば彼等は正面阿非利加に向つて手を伸すのが當然であります。
に米國は阿非利加の方面に手を伸ばさずして、遂に手を伸しまして後ろのアラスカからベーリング

たことがあります。然るにそれ以來未だ三箇月にならざるに既に黑龍線のユフタ方面に於て日本の一箇大隊が全滅しました。其時の敵の行動は非常に巧妙で到底あの過激派のやり方と違ふと云ふて或參謀が私に話された。どうも變である、貴下はどんな考を有つて居るかと云ふ御尋ねであつたから、私はそれに就ての意見を有つて居りますけれども、先づ此敵の行動に就て十分に御話を願ひますと云ふて詳しく御話を伺つた後に、私は更めて參謀將校に向つて斯の如きことを申しました。少しく出過ぎた言ひ分でありましたが、貴下がた參謀官が敵の行動をどう云ふ具合に御考へになるか知れませんが、此度の過激派は其策源地を何處に置くと云ふことの御考があるかと御尋ね致しましたが、〇〇〇の附近か又は〇〇〇の附近であると云ふことを御話になりました。私はそれは少し違ひませう、私の考へます所に據りますとずつと東の方の〇〇〇北の方の山の中でないかと云ふ御話を致しましたが、成程さう言はれると其方が當つて來ると云ふ話でありました。然らば君に任せるから君の思ふ存分のことを書いて呉れと云ふ。それから私は思切つて過激派と米軍との關係に就きまして憚らず自分の意見を申しました。それまでは亞米利加と云ふ軍隊は日本の味方と思つて居つた、所が豈圖らんや味方を裝ふて敵に內應して居つた軍隊であると云ふことを憚らず官憲に報告が出來る程の事實を摑んだのであります。私は米國には恨はないが、我國を呪ふ以上は之を默許することは出來ない、是は私のみの意見でないのであります。

我日本帝國は今大打撃を受けつゝあると云ふことはお互ひ少し世界の大勢に眼の有る方は直ぐ分りのことでありませうが、何人が此日本の國の運命を呪ひつゝあるかと云ふことに對しては未分に御研究にならん方が尠くない、で自分は政治家でもありませず、宗教家として立つ人でもござせぬけれども自分の立場として、自分の研究の結果を申上げることは私の任務としては決して無ことではありませぬので、我皇國の運命を呪ふ所の二つの驚くべき又憂ふべき隱謀が東に西に擴ゝあると云ふことを今晩十分に御話申上げやうと思ふ。直言しますれば東に米國あり西に猶太あ兩國が兩々相俟ち、東西相應じて日本の運命を極力呪ひつゝあるのみならず畏くも皇室の根底をんと企てゝ居ると云ふことが自分の研究の結果として明かになつて參りました。然らば何處からが分つたかと申しますれば大正七年の夏私は西比利亞の方に旅行致しまして、或任務を以て黒龍沿線をずつと廻つたことがあります。其時に黒龍鐵道の或地方で亞米利加の將校が三々五々相携獵銃を肩にして山奥深く這入る後姿を見まして、これは尋常一樣の單なる銃獵でないと云ふことがなく私の頭の中に開きました。それから其方面に向つて多少の調査を致しますると云ふと益々自頭の中に浮んだ幻想が事實らしくなつて來て何か彼等の行先に於て或隱し事があるのではないかふ疑が起きて參りました、そこで自分は或一つの意見を具申致しまして當局に其ことを申述べ

是より暫くの間申上げることは昨年の春でありました、　攝政宮殿下が英吉利に御渡航遊ばされるに方りまして、自分は其極めて危険なるを豫め承知致しましたので、まだ御決定ならん前に方りましてつ宮內大臣に宛てまして、此度の御旅行は御止めになるやうに御勸め申上げました。其折離れて居ては能く分らぬからと云ふので態々御呼びなされた。私は丁度昨年の正月二日に東京に參りまして大臣閣下に縷々自分の思ふ所を申上げて是は正面より御止めなければならんことであると云ふことを隨分詳しく申上げました。種々事情がありまして遂に御渡航遊ばさるゝことに御決定あり先づ今日に於ては芽出度御還りになつたことでありまして、其間に於て何等の不安もなければ私の思ひました所の憂は徒に煙と消ゑましたけれども、是が爲に自分の申上げました所の事實は僞のあつた譯でもなく、自分の申しましたことは空しきことであつたと云ふ譯でもなく、唯途中の御警戒が一層嚴になつたと云ふことゝ、固より天祐之に加りまして御無事御還りになつたと云ふことは吾々一同臣民と致しまして御祝著申上げましたが、其時申上げました自分の意見に取捨を致しまして、申上げる必要のないことは今晩は拔きますが、更に又申上げなければならんことは附加へまして、皇國の運命を呪ふ二大隱謀と云ふ題で是より暫くの間申上げます。

く、歴史は繰返すものである。日本の國も必ず戻らなければならん時期に今近きつゝありまし
の紊亂した思想輕薄なる氣質、混亂したる所の信仰が引つくり返つて何處に行かと云ふと昔の
に戻る。其時に猶太人とどうしても御互に貴下は自分の兄弟でなければならんと言はなければ
程に國民性が似て居ることがお互に分つて來まして、一つ血を絞つて見ませうとお互の血を絞
て盃に入れた時に猶太人の勝利は日本人の勝利であります。

猶之等に就きましては是から連續致します講演で時々補ひを致します

の希望に對して今日一般に誇ることの出來る準備があられるでありませう。猶太人は二千五百年間非常なる隣むべき又苦しい辛らい、世渡りを續け子々孫々それを嘗めて來ましたけれども、聖書に示された所の非常に大きな權威ある全世界統一と云ふ大きな目的に對して、其大部分はまだ出來ませぬけれ共然し乍ら其一部分が既に實現されて而もそれが世界の中心であると云ふことを彼等が認めた時に遙に將來を臨んでパレスタインに對したのは唯サミエルばかりではありません。全世界に散在する所の猶太人千五百萬人の中には政治上の爭ひ、信仰上、習慣上の爭ひ、同化しなければならんと云ふものもあるし同化してならぬと云ふものもあるし、今日シオン團の中にも信仰的にやらねばならんと云ふもの、政治的にあらねばならんと云ふもの、經濟的にやらねばならんと云ふもの色々な爭ひがあつたけれども、パレスタインの撒欖山の頂ダビデの上に旗が出來ました以來誰一人爭ふものはありませぬ。何人も神の前に感謝の祈を捧げて居ります。此民族に今少し時間を與へたならば決して今のやうな醜き豚のやうな生活を續ける國民でありませぬ。是は一時の方便に過ぎない。彼等は目的の爲に一時卑しむべき憎むべき手段を採りましたが目的が成るならば手を洗つて我は神の選民なりと云ふ立派なる國民性に必ず生きて來る。然らば猶太人はどんなに立派な人間かと言へばそれは日本の楠氏のやうな人であります。日本には楠正成のやうな人は珍らしいけれども猶太人には澤山あります。實に其歷史を讀みまして淚か零れる位で實に尊むべき國民性を有つて居る其昔の國民性にずつと戻つて行

のを其當時の虐待から免かれしめる爲めに前述ウガンダにシオン團を造らんと致しましたが、露
系の副會頭、猶太人でウシンギと云ふ人が頑として應じない。英國の言ふ通りに應ずるならば我
亞系統の猶太人は斷然手を切ると云ふて彼は席を立つて露西亞の國に歸つて行つた程に强き信
活動をした人であります。其殊勝なる心にヘルツル博士は感じまして英吉利の皇帝から賜つたウ
ダと云ふ領土全部を御返して我々は猶太のパレスタイン以外に一掬の同情も願ふ者でない、つ
地を得る爲に働くのでない、パレスタインに國を建てる爲にシオン團の運動をするのであると
とをヘルツル博士は答へた。今日彼は非常に尊敬されて居るが、惜むらくば彼は獨逸皇帝土耳
に欺かれたことを悲憤やる方なく今から約十數年前遂に病の爲に恨を呑んで死にました。僅に
の後に於て彼の恨みか逆に滿足すべき所の喜ぶべき事實となつて現はれたと云ふことを彼が地
て聞きましたならばどれ程喜ぶでありませう。

猶太人は斯る權威を以つて世界を自分のものにしやうとして居ります。私は滿鐵の經營は知
ぬ。今朝も一寸上田さんに御目に掛つて伺ひました、もう少し聽かうと思ふたが時間がありま
で其儘になりましたが、若し滿鐵の計畫等をちやんと承つて居りましたならばそして、我々が

々の何處かに殘つて居て、頭髮は亞米利加のやうに分けましても、着物は英吉利のやうになつても、言葉は支那の言葉を使ひましても腸を絞つて見ると云ふと大和魂の赤い血がぢり〳〵滴るものが我々民族にある。猶太人は自分の國の言葉を忘れる程外國人の奴隷になりましてもそれで同化しませぬ。猶太人を同化せしめやうとしてクロレウエルが門戶を開いて見たが同化しませぬ、遂に鍋島の婆さんの如く猫が婆さんの代りに生きて居るのです。生きて居るのは人でなくて猫である、英國は英吉利人の國でない、猶太人の國であります、西班牙、葡萄牙、其當時の列强國として文明國として贏誇つて居つた國は今は小弱國として扱はれて居る。猶太人を呪ふものも滅される、呪はざるものも亡される。此始末に終へない所の民族が段々勢力を世界に延ばして遂に天下を我物にしやうと世界の大戰をやり平和條約に於て遂に土耳其を滅してパレスタインと云ふ國名を立つるまでに自分の理想を實現せしめました。斯ふ云ふことは夢にも出來るものでないと云ふて耶蘇敎信者の中にも批評がありました。猶太人の中にもシオン團に對して反對もございました。併し露西亞系統に屬するシオン團員は聖書の言葉は一歩も曲げないと云ふ强い信仰に立つて居る。是が遂に今日勝を占めまして英吉利は自分の國を亡ぼされては困るので猶太人に何處か國をやらうと云ふので東阿弗利加のウガンダと云ふ所を皆猶太人にやるからと云ふのでヘルツル博士に英國總理大臣が所謂御機嫌を伺つた。ヘルツル博士は其當時シオン團に於てそれ程信仰的でありませぬ、寧ろ政治的であつたのであります。詰り猶太人と云ふも

て居ります。呪ふた所の露西亞が呪はれて今は跡形もない。さうして猶太人は全世界を統一す
然として地中海の一角に國旗を飜して中央帝國の第一步を斫んで居る。パレスタインまでは地球
分の距離がありますけれども、シオンの旗は段々高くなつて參りました。全世界が其旗の下に統
受けなければならんと云ふ時代が早晩必ず來るでせう。其時に我は餘所の國と同じやうに猶太人
に膝を屈めて猶太人に屈從をすべきか、猶太人と手を握つて「何んだ、君であつたか」「お互に一緒
らうぢやないか」と云ふやうに悉く自分の立場を明かにして立つか、其二つの一つを擇ばなければ
ん時代が迫つて參りました。英吉利の海軍の軍艦の帆綱は何處を切りましても中に赤い筋が一本
つて居ります。どんな短かい所を切つても赤い筋が這入つて居る。何處の國の旗印が立つて居り
ても帆綱の中に赤い筋が這入つて居りますれば、是は英國の軍艦であると云ふことが分る。猶太
殺しても死ない國民である。是は外の民族にはありませぬ。日本國民は又同じやうに不思議な力
つて居つて脊丈も少さいし顏も餘り立派でないし色も黑い、どうも頭も開けてないやうに見ゑて
けれども、剩へ耶蘇教を信じない異教民であると云ふて或國では野蠻視して居るけれども、此日
は殺しても死なぬ。巧言令色政策言論を以て之を釣らんとしましても釣ることの出來ない、或國

過ぎませんけれども、さう云ふ風なやり方をして拔目なく立働いて居るのでありますからして、なあに猶太人はどうならうと別問題だ、自分の就職問題に關係しない、衣食住にどう云ふ關係があると云ふことで唯うつかり御考へ下さつたならば、其中に我々がぼんやりして口を開いて居る間に我々の腹の中に取返しの付かない毒が廻つて我々の國民性が彼等の思ふ通りに變化するかも知れぬ。否變化して居る。日本の近代の人の頭の中が昔の世に見ることの出來ないやうに變つて來ました。けれども五代友厚であはりませぬけれども日本の國は魂で立つて居る以上は浮薄なる人が五十萬死なふと百萬死なふと乃至一千萬人擧つて溺死しやうと日本の國はさう云ふ爲に滅びる國でない。さう云ふ場合に天佑明かに現はれる。併し其天佑を當にして我々はぼんやり日を送るべきぢやない。此恐ろしいたくみが眼の前に時々刻々迫りつゝあるばかりでなく畏くも皇室の根抵を覆へさんと云ふことに向つて彼等が働いて居ると云ふことが分つて參りましたならば、我々は國民の一人として之に對してどう云ふ處置をしなければならんと云ふことは私は申上げる必要はないことゝ思ふ。諸君各自の心の中に何か之に對する處置が出來る筈です。然らば猶太人と喧嘩をするか、喧嘩した所が役に立たぬ。現在の猶太人を殺した所で仕方がない、猶太人を殺せば、烈しい運動をやることポーランドのやうです。ウクライナに於て戰爭が始つてこなた約四十萬人の猶太人を殺して居ります。其殺し方は非常に慘虐であつたけれども、是が爲に猶太人は自分の意思を曲げて居らぬ。そんなことで滅びるならば疾ふに彼等は滅び

居る、君是は間違つて居るぢやないか、我々日本人の有樣は斯うである、猶太人の考は違つて居彼等を眞正面から攻撃致します。でありますからして隱すことは更に致しませぬ。此方は胸を披進みますればそんなに危險と云ふものはありませぬが然し一體猶太人と云ふものは何處まで手をして居るかと云ふことに就て私は一寸短い例を申上げます。一昨々年の十二月二十五日に陸軍大ら電報が參りまして直ぐに出京すべしと云ふことでありましたので取るものも取り敢ず二十八日發致しまして丁度關釜聯絡船で以て正月の元日の旭光を拜みました。二日に東京に著いた。其時私爾賓で能く知つた、而かも自分達の宿の娘です、是は猶太人、其娘さんがお婆さんと二人、それ語が出來ますから始終話をして居つたが、私が日本に歸ると云ふことは私は自分の職責上誰にもず、無論自分の役所の者にすら話さない位にして急に出發しましたが、どうでせう關釜聯絡船でます時に其お婆さんと娘さんが船に乘つて居るぢやありませんか、私は言葉を掛る餘裕がありまでしたが、實に機敏なものだと思ふ。さうして何時もならニコ〳〵してお互に知合の中だから話來さうなものだけれども、私もきかぬ、向ふもきゝませなんだ、遂に汽車の中でも同じ汽車に乘したが顏も見せませんでした。氣味惡く思ひましたから東京驛で降りる前に品川で降りました

ん。豈獨り猶太人のみならんやです。其大なる自的を果す爲に手段を撰ばないと云ふことは已むを得ません。親の爲に身を賣つて操を曲げた娘もあります。それを淫らな淫奔女と見ることは出來ませぬ。さう云ふ風なことからして私は猶太人に敬意と同情を表して居ります。詰らぬ猶太人とは交際して居りませんけれども、英國のシオン團の本部に居る者、亞米利加のシオン團の本部に居る者、パレスタインの本國に於ける猶太人、さう云ふ方面の人とは時々文書の交換をして居りますが、自分の希望としてどうしても日本と云ふ國と猶太民族と云ふものは手を握らなければならんものであると云ふことを自分は聖書の上から信仰して、是は敵とすべきものでない、是は政治方面からではありませぬ、政策からでございませぬ、聖書の上から神の御心に從ふ所の信仰から割出すならば猶太民族はどうしても日本國民と手を握らなければならんものであると云ふことを自分は堅く信じますので、一方猶太人を研究すると共に他方日本國民に猶太人の本質を敎へ合せて日本國と云ふものはどんな使命を有つて居るかを學び、それから排外思想を有つて居る人達の頭の中に外國人とは言へ尊き國民であると云ふことを敎へると共に此國を呪ふ所の猶太人とは決して敵對すべきものでない、手を取つて味方にならなければならぬものではないかと云ふことを事實の上から共に學ばんが爲に私は猶太人研究に沒頭して居ります。是が實現されるか或は之が爲め自分の生命がどうなるか知れません、甚だ危險な仕事でありますけれども私は猶太人の前に少しも隱して居りませぬ。私は猶太人の斯う云ふ方面を研究して

ればならんのです。

茲に於て我々お互ひ如何なる覺悟をしなければならぬ乎。武力を以ては勿論之に向ふことは出
せぬ。詰る所思想問題です。經濟方面の如きは是はそれ程のものでない。嘗て大隈侯爵以上に
た維新の志士で五代友厚と云ふ人が當時の志士に向つて諸君は何になるかと云ふ質問をした時
隈、岩倉、木戸、黒田なんと云ふ連中は俺は軍人になる俺は官吏になると云ふて治國平天下の
れも蹶起して居ります。然るに、皆役人になつては誰が町人になるか、日本の國を富す者は誰
等がならなければ僕がなるといふて五代友厚は町人になりました、算盤を取つて殿樣商賣を始
失敗したか成功したかは知りませぬが、當時の日本の國富は今日の如く豊ならずして年々缺損
大きくなつて、是が數年續けば國が滅びはしないかと云ふ憂が憂國の士には誰にも頭の中に浮
とであります。無論五代友厚の側に働く人達は皆普通の町人ではありませぬ。劍を横へて居つ
であります。斯くの如く日本の財政が不況に陥りましては遂に滅びて終ひはせぬかと一同心配
すと、其時に五代友厚は京都のものでありましたが、日本は錢で立つて居る國でない、魂が腐
限りは日本の國は滅びないと云つた。是が世渡りの巧みな淺ましい町人共には分らぬ所でありま
當時の志士は皆な國の爲に軍人となり。官吏になることを以て名譽とした。彼は獨り國の爲めに

來の大和魂が殘つて居りませぬでしたならば、日本の國は疾の昔に現支那の如く現露西亞の如く同じ運命に居なければならぬ國であつたのであります、けれども同じ手段同じ方法を以て日本の國は隨分煩はされましたけれども、ビクともせず却て是が爲に日本の國が發展したと云ふことは是は猶太人から見ますれば豫想外なる案外なる而して圖り知ることの出來ない思ひ掛ない不思議なる出來事であつたであリませう。猶太人は若し我に自由を許すならば日本の國を三年の間に亡くして見せると云ふた。併し日本の國はそんなことで亡くさるべき國でないと云ふことは今迄二千六百年の歷史が之を證明して居ります。毒を飮んでも死ない人には仕樣がない、如何しても死ない人にはどうすることも出來ない、日本の國はどうやらそんなものらしい。世界の國で殺しても死ない國がある、それは猶太民族であります、其外に死なない國があるとすればそれは日本帝國であります。此猶太と日本と云ふ國がどう云ふ關係にあるかと云ふことは今晚は御話しませぬが彼等は日本を以て自分の理想を邪魔する國の如くに考へまして日本に向つて恐しき隱謀を以て皇室を根抵から覆さんと努力致しましたけれども、遂に成らず、波が高く塵芥が高く上りますけれども、思想は紊亂致しますけれども、信仰が腐敗しますけれども、それは表面の出來事であつて、日本國民の腸の底は微塵動かず風何處に吹くか波何處に立つかと云ふやうに變りなき靜かさを以て落著いて居る。それが無かつたならば疾ふに滅ぶべき國です。其日本の不思議なる實力が猶太人に分ります迄は我々は猶太人の恐るべき害毒を受けなけ

嫌ひます。外國の民族達に此尊ひ所の信仰を持たしては濟まないと云ふので猶太教は決して外國
は教へませぬけれども、それを裏返して其裏の方を世界各國民に宣傳して居ります。それが卽ち
にも其信者が在る或る學者でフリーメーソンリーに大變凝つて、人の前でも私はフリーメーソン
でありますと公言する位にのぼせて居る人があります。けれども私は日本人として斷じて御勸め
ことは出來ない、何故なればこれは日本の皇國を破壞する所の猶太人隱謀であると云ふことを今
言します。國はどうなつても構はぬと云ふ人以外に斯るものに迷はされると云ふことはお互注意
きであります。私はフリーメーソンリーを研究しては居りますけれども、それに這入つては居り
ぬ、私は誰の前に行つても耶蘇教の信者であると云ふことだけは大きな聲で申上げて置きます。
教信者であるけれども自分は日本國民であると云ふことは、是は離すことの出來ない自分の大な
務として替へることの出來ない大きな自覺になつて居ります。日本の開發の爲に日本の開港を警
た所のペルリは偉い、人傑の如く眺め遂に其記念碑までが浦賀に立つて居ります。其ペルリは何
あつたかと云ふことは今此處で詳しく申上げることは出來ませぬけれども、彼は少くとも日本に
を表して來た人でないと云ふことは我々は知らなければならん、彼は排日派の巨頭であると云ふ
は米國史が明かにして居ります。ペルリが參りまして大統領に復命書を出した。それを見ますと隨
切つた惡辣なことをやつて居ります。若しうつかりして日本の國に萬世一系の天子な

教育ばかりでありませぬ、政治に於ても紐育は非常に勢力のある所で紐育の市長は必ず米國の大統領になれると云ふ位勢力のある所、其紐育はフリーメーソンリーの勢力のある所で彼處の教育に從事して居る人の數は今一寸記憶致しませぬが、其教育者の七割五分はフリーメーソンリーの團員で若し後の殘りを總て耶蘇教信者と致しましても二割五分しかありませぬ。然らば耶蘇教信者であつて兼フリーメーソンリーになれないかと言へば慥かそれはなれます。なれるけれどもさう云ふ二心の者を天の神は眞面目なるクリスチャンと見て御居でにならん。右手では平和正義人道何のかのと立派な旗を翳しても左手はずつと侵略をやつて居る。何處の國にそんなことが出來るか、それは決して眞面目なる一つの心から出るのではありません。故に亞米利加の國が本當に耶蘇教國であればフリーメーソンリーが決して這入るものでないのでありますが、亞米利加は建國當時からフリーメーソンリーに依て成立つたものであると云ふことは今御話した事實に依て明かであります。

其フリーメーソンリーは何であるかと云ふと祕密結社で分らぬ、起因すら分らぬ。併し見るべき方法を講じますれば又分らんこともないのであります。段々調べて見ると是は猶太教です、立派な猶太教です。詰り猶太教と云ふものを裏返しにしたものである、反物にも裏表があつて表の方に浮き出して居るものは必ず裏の方に凹んで居る如くに同じ反物でも裏表は違ふ。猶太人は自分達の目的を果さん爲に猶太教を持つて行つては他人が信仰しませぬ、且つ猶太教は猶太人以外の者に信仰さすことは

ワシントンは耶蘇敎信者でありませぬでした。彼の人物が如何の斯うのと言ふのでありませぬ。
就ては今晩彼れ是れ申しませぬが、彼はクリスチャンでないと云ふだけは事實であります。然らば
あつたか、フリーメンソンリーであつた。何故分るかと言へば彼が大統領に就任します時に、又彼
婦さんと結婚します時の式を見ましても我々は耶蘇敎の式でやつたものと思はれますけれども、
の證明する所に據れば耶蘇敎の式を用ひませぬ、フリーメーソンリー式を用ひて居ります。彼が
しました時のみならず、彼大統領の官舍、亞米利加の名高いホワイトハウスと云ふ立派な建物が出
す時に卽ち日本で申しますれば定礎式の時に大統領のワシントンがマッソン國の衣を着てマッソ
に依て其莊嚴なる式を執行致しました。是はフリーメーソンリーの記錄に明かに書いてあります。
でも御覽に入れます。さうなるとワシントンと云ふ人物の善惡は別ですが、彼はクリスチャンと
どうしても出來ないことをやつたのであります。フリーメーソンリー式を用ひた彼はクリスチャ
ないといふことを玆に更めて斷言致します。亞米利加の大統領は一人として耶蘇敎信者はありま
皆フリーメーソンリーであります。フリーメーソンリーでなければ大統領になられぬ不文律が
て居る。一般に知れ渡らない所の或法律で以て初めて知り得たのであります。是は米國の惡口を
のでありませぬ。唯米國は耶蘇敎國でない、あれはフリメーソンリーの國であると云ふことを御
上げたい爲に申すのであります。尙其上に亞米利加の敎育と云ふものは册育に中心を置きまし

國の歴史に書いてあります。そうとすれば米國と云ふ國はどうなるでせう、猶太人が心あつて發見させた國、猶太人が默つて知らずに抛つて置く筈がありますか。もう一つ亞米利加の歴史に最も關係のある英國のピユクタン、―清教徒と云ふ耶蘇教の一番きつすゐな一番立派なるもの、耶蘇教のエキストラのやうに我々は信じて居つた、又さうかも知れん―此清教徒をして亞米利加に渡航せしめたのはオリバークロンウエルで是は猶太人ではありませんが、彼は立派なるフリーメーソンリーの團員であります、同時に當時英國は猶太人に對して敵感を有つて居つたのでありますけれども、クロンウエルがクーデターを敢行して猶太人に道を開かんと云ふので英國皇帝の〇〇を〇〇して遂に英國皇室に鑪を入らしめたのは誰か、オリバークロンウエルである、其爲に現代の英國皇室は變なものに崩れて來た。猶太人に斯くまで好意を表して居つたクロンウエルは一方に於て猶太人に植民地を盛んにやらせ、同時に耶蘇教徒を米國に渡らしめる、猶太人に好意を表して居る者は右の地に於て手を握ることが出來ませうが、クリスチヤンを不具戴天の仇として嫌つて居る猶太人がどうして彼等と手を握ることが出來ませう、其邊は疑問にして置きます。

それから米國の獨立戰爭が出來上つて初代の大統領ワシントンは世界に於ける甚だ特筆すべき偉大なる史上の人物として謳はれて居ります。初代の大統領ワシントンは無論私は耶蘇教の信者と考へて居りました。耶蘇教を人に傳へる時にもワシントンを例にしたことが幾らもあります、所がジョージ

來ない。犬の肉を賣る所に犬の頭を掲げては賣れない如くにフリーメーソンリーは堂々たる美し
互扶助の金看板を掲げたる猶太人の祕密罪惡結社であります。此フリーメーソンリーの勢力はど
のものであるか、日本のことに付て御話したいけれども、是は少し差支へることがあるので今晩
しませぬが、外のことは差支でございませんから申します。

亞米利加〳〵といふと一も二もなく耶蘇敎國と御考へになる、私も今から七八年前までは亞米
は理想の耶蘇敎國であると思つて居りましたが、豈圖らんや自分の思ふたことゝは全く齟齬致し
耶蘇敎とは似ても似付かない反つて、正面から耶蘇敎を攻擊して居るフリーメーソンリーが米國
仰であります。くどいことを一々御話申上る必要がありませぬが、表面に現はれた大きな事實だ
申しますれば、先づ亞米利加の國が出來たと云ふ時から少し申上げます、亞米利加を發見したの
ロンブス、そのコロンブスは猶太人ではありませぬが、コロンブスをして亞米利加を發見せしめ
うに奬勵して、どうしても向ふに大きな大陸があると云ふことをコロンブすに信仰させるまで努
たのはザンゲとサンクと云ふ二人の猶太人であります、又イサベリー女皇に其費用を供給せしめ
は猶太人の團體が主として當つたのであります。第一回の探險隊には猶太人が五人しか乘つて居
せん。其五人は有力な猶太人であつて航海術、通辯、專門の學者、それから用度、詰り會計さう

てる爲に喜びの涙を以て捧げる所の美しい眞心であります。國を失ふて二千六百年になる所の亡國の民の頭の中にどうしてさういふ愛國心が起きましたか。其不思議なる力が遂に事實となりまして猶太と云ふ國が今現に出來上り、出來てから旣に四年になります。シオン團と云ふものは大凡そ斯う云ふものでありますが之れと相呼應して他の一方に矢張り此猶太國建設の爲に面白い又恐ろしき働きをして居るものは何であるかと言へばそれはフリーメーソンリーであり、大連にもあります。實はそれを研究しやうと思つて大連へ來たのであります。フリーメーソンリーは之をマッソン團と譯して居りますが、名前はどうでも宜い。其マッソン團ですが是はシオン團の如く正面攻擊は致しませぬ。猶太人とは何も關係はありませぬと言つて手を振つて知らぬ顏をして居る。我々はそんな醜ひ罪深いことはやつて居りませぬ疑ふなら御覽下さいと云つて門戶を開けて盛んに人を入れる、佛敎信者も御出で下され、耶蘇敎信者も御出で下さいと云つた具合で大いに公開振を發揮して居る樣に見ゐる、行つて見ると正々堂々たる道德を重んずる團體であつて、毫も非難する所のない團體に見ゐますけれども、それは表面丈けです。誰も毒を飮まさしめるに毒ですと云ふて人に飮ませはしない、藥を飮ますにさへ甘くしてやる。國を呪ふふのに直に人に見現らはされるやうなものを揭げては決して欺くことは出

することが出來るのであります。決して亞米利加が腹一パイに膨れて居つて尚食ひたいと云ふ欲に世界を侵略するのとは違ふ。此シオン運動と云ふものはさう云ふやうにして全世界の帝國を皆てさうして其處に自分達のシオン帝國即ち理想の王國を建てる爲に猶太人は努力して居ります、ンと云ふことは日本語の日の本又は日向の國と云ふ意味で是の譯が一番よく當つて居ります。吾本國が果して猶太人の理想の帝國で有るか無いかはお終ひに御話しますが、日本人は日本のことの國と言つて誇つて居ります。猶太人の理想として居る日の輝く帝國と云ふのは詰り神の御心がに普く行はれる理想の王國を指したもので彼等は是れを實現せしむる爲に今日まで千辛萬苦を嘗と云ふことはお互に記憶しなければならん所の大なる歴史であります。

猶太人は慾が深い、隨分貪りますけれども、勿論彼等にも例外もありませうが、其慾を何故にするかと言へば、決して自分の利益のためのみにやつては居りませぬ、金がなければ働きが出來い。故に金を取つてシオン運動に供せなければならんと云ふ立場から彼等は金を溜めることを敢て居ります。其證據には猶太人は拜金宗の唱ふる如く紊りに貯金は致しませぬ。是は何かの準備へんが爲にするのでシオン運動の世界大戰に於ける講和條約に於ける運動として三千萬圓ばかり

は猶太人であります。統一黨の首領も自由黨の總理も皆猶太人であります。其時の英國の外務大臣のバルフォア氏は猶太人ではありませぬけれども、彼はどうしても猶太人の爲に道を開かねばならんと云ふことを眼の前に明かに認めましたから遂に英國の運命の爲に猶太人に道を開いてやつた。若し道を開いてやらなければ猶太人は安全瓣を塞がれて英國を紊すだらうと云ふ懸念から彼は此宣言をやりました。けれども猶太人は其宣言をやつただけでは滿足致しませぬ、アイルランドに騷動を起させ印度に騷擾を起させて英國の政治に非常なる罅を入れました。斯の如く猶太人は自分の目的を達する爲には敵であらうが味方であらうが何とも思つて居りませぬ。猶太人は近頃露西亞で共產主義を實行して居りますが、猶太人の共產主義は根柢から趣を異にして居ります。虛無黨も無政府黨も過激派の如きも無論猶太人の關係する所であるが、それ等は悉く猶太人の精神でもなければ希望でもなく、皆な斯う云ふものをダシにして露西亞と云ふものを根本から覆へすと云ふ一つの法略に外ならぬ。猶太人は純然たる帝國主義ですけれども方法手段としてはデモクラシー來れ、社會主義來れ無政府主義來れ何でも宜いのであります。詰り現在の世界を潰す爲であつて之を潰すには毒を以てしなければならん、其毒は自分は飮まないが、人には飮ませる、斯う云ふ風なずるいことを彼等はやつて居る。であるからシオン團と云ふものは聖書に基いた所の極めて立派な運動であるが、亡國の民と云ふ情けない境遇からして彼等は醜い卑劣なる惡辣なる手段をやつて居りますことは、我々は猶太人の現狀に照して同情

是は明晩別に御話致しますから今晩は申上げませぬ。猶太人が世界を統一するとすれば其中には
の國も這入つ居ります。我々は當然之に對して防御線を布かなければならんと云ふことはお互ひ
すべきであります。

斯くの如くシオン團は正々堂々たるものであり其運動は立派な信仰から成立つて居るのであり
す。けれども無論政治運動にならなければならず經濟運動にならなければならず、或時には卑
る運動もしなければならんと云ふことに段々なつて參りまして、今はシオン團と云ふものとそれ
フリーメーソンソーと云ふものゝ區別が分らん位に混雜して居りますけれども我々から見れば明
る區別がついて居ります。シオン團と云ふものは甚しく政治化して居ると云ふことは事實であり
す。其シオン運動が日本の國にさへも來て居る位でありますから勿論歐米諸國に於ての勢力はす
しいものであります。ウキルソン大統領をして獨逸に向つて十四箇條の平和條約條件を唱へしめ
も是は亞米利加に於けるシオン團の決議を本として作つたものであります。一々詳しい所の御話
きますので漠たるものでありますけれども、御尋ね下さつたならば詳しく申上げまする。亞米利加
る猶太人のシオン運動の決議がウキルソン大統領の十四箇條になつた。そして其十四箇條の平和

します、最近見事な人殺しをしたのは亞米利加の前大統領ルーズベルトが愈々歐羅巴に出發と云ふ時に亡くなつたことです。新聞にも出ませぬがそんなことは何共思はないで平氣でやる。其猶太人の働は必しも亞米利加ばかりでなく歐羅巴ばかりでなく、今現に近く我々の國の中にも恐るべき彼等の勢力が發展しつゝあります。唯一寸困ることは亞米利加や歐羅巴では猶太人が素顔の儘參りましても一寸見當が付きません、區別が出來ません、彼等は猶太人と思はれない人がある、分らない人が澤山ございます。塞爾比亞に參つて墺地利の皇太子と皇太子妃殿下は殺された。塞爾比亞の青年は墺地利に恨みを有つて居りますけれども、それを殺さなければならん程篦棒なことはやらん、之をやれば戰爭が始まる。それを知りつゝ導火線に火を點けたのは塞爾比亞に居る六萬の猶太人の中にちやんと大きな企てが出來て居つた譯であります。さう云ふやうに何も氣が付かぬ、人々の豫想することの出來ないやうにちやんと不思議なる計略を埋めて置いてポンと破裂すれば禍は人に歸し手柄は我之を奪ふといふ策略を以て片つ端から世界悉くの帝國を滅しつゝあるが、支那帝國が潰ねて誰が利益を得ましたか、皆國民の禍ひで獨り微笑んで居るのは猶太人である。露西亞帝國の潰れたのは誰が喜んで居る、露西亞人は非常に後悔して居る。唯獨り猶太人が微笑んで居ります。若し之を我日本帝國に移すとすればお互ひ國民のみの禍ひであリません。其憂ふべき機會が非常に近く迫つて居る時に我々は猶太人の行動に對して何をも知りませぬでは自分の國に對して少し濟まぬ氣がする、日本の皇室の運命に掛る、

居ります。

更に此シオン團は極東方面に於ては然らばどう云ふ働きをして居るかと言へば南の方は上海に
て、北の方は哈爾賓に於て中心を形つて居りまして此二つの中心點を以つて大いなる楕圓形を畫い
其處の中には面白い運動が今著々行はれつゝあります。楕圓形の中には無論我日本帝國も含まれて
ります。支那が到底復辟運動をする餘裕がないと云ふことも、露西亞の全滅しなければならんと云
理由も皆悉く楕圓形の中に我々が眼の前に見て居る事實であります。併し猶太人はずるい、一體ず
い人間は皆さうですが、決して自分ではやりませぬ。人に働かして罪があれば其人に罪を歸し功名は
獨り之を貪ると云ふやり方をやる。斯う云ふ卑劣なる行ひをすると云ふことは大和民族には一寸見
が付きませぬけれども、猶太人は目的の爲に手段を選ばないと云ふ惡辣なることも何とも思はない
斯う云ふと猶太人は惡い民族になりますけれども、是は已むを得ません。國もなく今まで奴隷の如
暮しをした人民であります。自分達の目的を急げば急ぐ程遂に卑劣なる、心にもない手段を行はなけ
ばならんと云ふことになつて來ませう。食ふことも出來ない貧困であつても子供を殺す譯には行か
い、妻を殺す譯にも行かないと云ふので心ならずも盗みをすると云ふやうで、彼等は非常に權威の

國際聯盟の批准を受けまして立派な條約文となつて居ります。今土耳其が騷ぎを始めて其時の條約を壞さうと云ふ運動に取り掛つて居りますけれども、そんなものは成るものでない。兎に角猶太と云ふ國はパレスタインの中に建てられましてダビデの印を書いた猶太の旗が橄欖山の山の上に獨逸のカイゼルが土耳其の爲に拵へた壯大なる無論此處の滿鐵本社よりもすばらしい立派な建物の上に飜つて居り、其建物の二階からエルサレムの都を見下してロバートサミエルと云ふ英國の貴族ですが、其人は微笑みつゝ眼の前の小さい國であるけれども、是が聽て全天下を統一すべき所の中心であるといふことを彼は心の中に信じつゝ人知れず天の神に向つて感謝して居ります。サン、ロバートサミエルは英國の貴族ではありますけれ共彼は純粹の猶太人であります。パレスタインの大使のみが猶太人であるのみならずメソポタミア、ペルシア、アフガンに於て、英國が發展しつゝある所の主なる長官は皆猶太人であります。印度大臣のチャーチルの如きも猶太人であります。今度の印度大使も猶太人であります。何故に此方面に猶太人の長官が任命せられるかと云ふことを段々御考へ下さつたならば、大抵其邊の見當が付いて來る筈です。英吉利と云ふ國の勢力が段々減つて實權は猶太人の手に歸しつゝあると云ふやうな狀態を御研究下さつたならば必ず御分りになることゝ思ひます。是は英吉利ばかりでありませぬ。亞米利加の如きは詳しく申上げる餘裕はございませぬけれども、猶太人としては英吉利の如くに勢力はありませぬけれども、猶太人の思ふ所は何でも成るといふやうな一つの機關が備つて

言ふことはどうしても聽かなければならんやうに彼等の暗中飛躍が見事に成功しまして、遂に講
議に於ては亞米利加のウヰルソン大統領が自から出馬した。斯の如くに大統領が自から出馬する
ふことが何處に例があるか、主權者が自から講和會議に臨むと云ふことは世界の歴史にありませ
ウヰルソン大統領が態々參りました。是は猶太人でありませぬけれども猶太人の言ふことは何で
く人です。それはそれとして佛蘭西のクレマンソー英國のロイドジョージ此二人も悉く猶太人の
通りになる人であります。併しクレマンソーは比較的六ケ敷しい。兎に角是は又後で附加へます
ども、新聞で御覽になつたでせうが四國會議、世界平和會議と言ひながら實は四國會議、伊太利
米利加、佛蘭西、英吉利此四國の總理大臣が集つて最高會議を開きました、四國會議の中に純猶
は居りませぬけれども、皆猶太人の思ふ通りにならなければならぬフリーメーソンソーと云ふ團
團員であります。併し其中の伊太利の總理大臣がフリーメーソンソーに這入つて居りませんので
が合はなかつたので一人除外せられました。それでブツト怒つて伊太利の全權達は歸國したこと
ります。其時どう云ふことをやつたかと言へばパレスタインに猶太の國家を建てゝ、やらうと云ふ
を英國の外務大臣のバルフオアーと云ふ人が宣言した。其宣言は有名なバルフオアーのデクラレ
ヨンと云ふ立派な申分のない、間然する所のない外交文書であります。それが本になりまして遂に

現せしめなければ已まない覺悟と又努力を致して居ります。シオン運動と云ふものは千八百九十四年今から十八年ばかり前に、瑞西のバージルと云ふ所でハンガリー人のヘルツルと云ふ彼處の猶太人が主唱となつてシオン會議と云ふものを開きました。其時に決議した第一項にパレスタインに猶太の國家を建てなければならんと云ふことを明文に載せました。ヘルツルと云ふ人は千九百四年に怨を呑んで死にました、獨逸のカイゼルと土耳其王のジャーワルに騙されて恨を呑んで土耳其皇帝から賜つた勳章を抛つて死にましたが、彼の理想が死後僅か十四五年の間に實現しやゝとは思はなかつたでせう。思はなかつたけれども兎に角千八百九十四年にバージル會議に於て猶太人は此決議をしまして其實行に向つて著々歩を進めて居りました。どう云ふ具合に順序を逐ふて進んだかは先達の世界の戰爭に就て御話しなければ分りませぬけれども、其處まで御話すれば長くなりますから今晩は申しませぬ。兎に角此決議に基きまして全世界の猶太人が氣脈を通じて專心此目的の爲に今日までどれ程の難儀をしたか、六十萬人を犧牲にしたと云ふ一事を以ても釋りますでせう。彼等は命懸です、露西亞の過激派の運動とは違ふ、あんなものではない。此猶太人がシオン團に依りまして或は英國、佛蘭西、伊太利乃至獨逸土耳其又は亞米利加と云ふ風に世界の强國は言ふに及ばず列國の中に手を廻して、どうしても猶太人の思ふ通りにならなければならんやうにして遂に世界の大戰と云ふものを起しました、勿論猶太人は總理大臣になつた譯ではありませんが—なつた人もありますけれども、併し彼等の

是が勢力が擴がれば擴がる程、彼等の勢力範圍が廣くなれば廣くなる程世界の大勢、總ての事實も
仰眼なしでは到底諒解することの出來ないやうに變つて參ります。斯うなると愈々我々の天下です
耶蘇敎の牧師は隨分みじめな生活を送りましたけれども、是からは世界に於ける識者の一人と言は
る位に時代が段々變つて參りまして、我々の天下も迫つて參りました。天下は廻り持であるから偶
は我々に取つて宜いことがあつても宜い。併し是は我々ばかりの世界でありません。信仰がありさ
すれば世界の大勢はずつと見ねて來る。猶太人の將來はどうなるか、日本の將來はどうなるか、互
には一々明に分ります。猶太人は間もなく全世界を統一すべき實力があり勝算歷々たりと云ふこと
私が今晩皆さんの前に斷言することの出來るまでに眼の前に迫つて參りました。彼等の運動は然ら
どう云ふ風にやつて居るか、正面の運動方法として彼等はシオン團と云ふものを組織して居りま
シオン團はまたシオニズムとも申しまして、是を猶太民族運動と譯して居る方もありますが、少
味が違ひます。矢張りシオン運動と譯した方が宜い。其シオン團と云ふものはどう云ふ目的である
と言へば全世界に猶太帝國を建てると云ふことを最後の目的として居ります。猶太帝國、而もそれ
小亞細亞の切れ端の一部分ではあるが、全世界を擧つて我猶太王國たらしめんとの大目的を有つ
居ります。之に就ては猶太人の中にも議論がありますけれども、純猶太信仰を有つて居る人はどう

ら壞はさなければならん。猶太人以外の者の頭から忠君愛國の思想を皆奪ひ取つて是非共之を今の言葉で言へばデモクラシー化しなければならんと云ふことが猶太人の策略であります。さうして全世界にある帝國を皆潰して滅して仕舞つて其處に自分達は王國を建てやう。佛蘭西革命、最近に於ては露西亞は如何、皆滅されて仕舞つた。支那帝國は如何にして滅びたか、獨逸帝國、土耳其帝國は如何にして滅びたかと云ふことを御覽下さつたならば大なる奇蹟であります。露西亞通の本野大使が露西亞から御歸りになりまして東京の新聞記者團を御集めになつて露西亞の御土産話を爲さつた時に、諸君は露西亞帝國に就て杞憂を抱かれて居るけれども露西亞の皇室も日本の皇室の如く寧ろそれ以上に强い深い根底を有つて居るからして露國の皇室は決して滅びないと云ふことを明言せられました。是が日本に於ける唯一の露西亞通である。私はそれは僞とは思ひませぬ。さう認むることは至當である。其本野大使が言明せられて四十日經たない内に露西亞に革命が起きて露國の皇帝はエカテリンゲブルダで恐るべき虐殺に會はれました。然らば本野公使は不明かと言へばさうでない。是は人の考以上の働きがあつて出來た、我々で言ひますれば奇蹟と申すものであつて、是からの世界はさう云ふやうなことがどし〳〵幾らも重つて續々と我々の眼の前に現はれて參ります。今までは政治眼があればそれで大抵のことは分りましたが、今日は段々變つて來て是からは信仰なしにはどうしても分らない所の不思議なる事實が現はれて參ります。其本は信仰で生きて居る猶太人が段々世界に勢力を振つて來て

インスタイン博士ベルグソン博士等は皆其處の教授であります。さう云ふやうに彼等は人の知
い中に國を建て、殊に到る所、自分達の思ふ所に根城を下して大きな仕事を拵へつゝある。出來
たものを見てアッとびつくりする頃はもう既に遲い。それで幸にも未だ滅びざる我日本の國民と
猶太人はどう云ふやうな謀を以て我國を呪ひつゝあるかを研究することが必要であるがそれは此
ゆづるとして、今日はその前提として猶太人の世界統一運動のあらましを御話申上げます。

其運動の方法は二通りありまして一は正々堂々正面から攻撃する。詰り正攻と申します。一は
方から敵の知らない中に或は奇襲とか夜襲とか申しますやうな方法を取つて彼等は世界を横領し
として居ります。けれども世界統一は亞米利加のやり口とは少し違ふ。亞米利加人の世界侵略は
可き罪惡ですけれども、猶太人は神の命令なりとして極めて神聖なる使命として彼等は其爲に
居ります。そこであるから同じく世界を侵略するのでありますけれども、一方は自分の利己の爲
一方は神の命令として是はしなければならんと云ふ立場から世界統一を圖りつゝあります。其世
一に就て先に申上げました如くに表と裏とあります。表の方になりますと詰り積極的になつて自
の理想とする所に國を立てなければならんと云ふ方針の下にやつて居ります。裏の方の消極的の
は總てのものを壞はして行かう。一寸した家を拵へるにも地下を掘起して一時壞して地盤を造る

訴ふる、腸を絞る所の調子は到底侵すことの出來ない光景であつて非常に同情を引き、斯てこそ猶太民族の生命ありと感激せざるを得ませんでした。私は耶蘇教信者として今まであれ程熱烈なる眞心を罩めた信仰を見たことはありませぬ。猶太人と言へば高利貸の如く思ひますけれども、それは猶太人の全部ではありません。彼等は「我は神の選民なり」と云ふ自覺が働いて、どうしても自分の一生の中に若し出來なければ子供に、若し出來なければ更らに子々孫々に之を傳へ傳へして是が非でも遂に世界を統一しなければならんと云ふ立派な信仰を有つて居る民族であることを忘れてはなりませぬ。丁度日本の子供に桃太郎の本を讀ませる如くに彼等の子供に此の信仰を承繼いで居ります。是は何處の國の國民も眞似ることの出來ない偉大なる教育であります。英吉利も佛蘭西も獨逸も西班牙も猶太の魂を奪ふことは出來ずして、却て猶太人の爲に自分の國が呑込まれて仕舞ひました。さう云ふ強い恐ろしい力を有つて居る猶太人が是迄國が無くてさへも非常な活動をして來たのですが、今度遂に平和條約のお蔭としてパレスタインに猶太人の國家を復活する樣になりました。さうして日本の外務大臣がシオン團と云ふものから名譽勳章を受けました。パレスタインに付きまして詳しく申上げることは出來ませぬけれども、同國は極く小さい國であるが是は世界の中心であります。今其處のエルサレムの橄欖山の山の上にすばらしい大きな大學が出來つゝあります。まだ竣工はしませぬが間もなく出來るでありませう。世界の最高學府として認めらるゝ程の立派な大學が出來る。最近日本で流行るア

皆さん時間の制限がありますから極くあらましを申しまして細かいことは略します。猶太人は國
無い癖に、世界至る所無籍者である癖に我は神の選民なりと云ふすばらしい大きな、大それた自覺
有つて居ります。自分は神の特に選び給ふた民族である、斯う云ふことは馬鹿か狂人でなければ
得ない。けれども猶太人は誰の前も憚からず我は神の選民なりと言つて親は子に子は孫にそれを
傳へて此自覺心を養つて居ります。彼等は自分の本國の言葉はすつかり忘れて外國語を使つて居
又奴隷の如に扱はれて居るに拘らず國民性は微塵も何處の民族何處の國民にも侵されず彼等は一
國民性を發揮して居る。でありますからして二千六百年を過ぎた今日に於きまして聖書の中に猶
は遂に天下を支配すると云ふことを明かに記されてありますが、其豫言に對して彼等は必ず成る
ふ信仰を有つて居ります。今日まで此信仰の爲に何千萬、恐らくはもつと多いでせう、其大犧牲
つて猶太人は此理想、自分達の使命を實現せんが爲に他民族の想像することの出來ない千辛萬苦
めて來たのであります。正月元日に世界各國の人々が祝盃に醉ふて享樂に浸つて居る時に猶太人
うするかと言へばお寺に參りまして神の前に涙を絞つて神よ國を滅した我祖先の罪を許し給へと
て訴へる、又出來るだけ態々パレスタインの近くに參りまして神の前に自分の罪を懺悔し又猶太
祝福を祈つて居ります。昨年の正月、正月と申しましても猶太の正月は違ひます。我々の十月が

猶太の手先に使はれ或は提燈を持ち或は使ひとなつて彼等の思ふ所を實現せしめつゝある所のものは千五百萬の十倍百倍あるか分りませぬ、甚だ大きなものであります。殊に猶太人は世界各國の最高級からして最下級に至るまでの人々に自分の思ふ所を爲さしめつゝあります。歐羅巴の主權を握つて居る大總統或は總理大臣を始めとして支那の苦力に至るまで猶太人の思ふことは一々恰も命令するかの如くに行はれて居ります。是が不思議、猶太人と申しますれば抑も猶太と云ふのは何處にあるかと云ふて御疑ひなさる程小さな而かも二千六百年前自分の國を失ふた流浪の民であります。其小なる國民に何が出來るかと云ふて恐らく世界の大部分の人が之を等閑に見て居ります間に豈圖らんや歐羅巴は既に彼等の掌中に歸して將に風前の燈火の如くになつて仕舞つて居ります。亞米利加に於ては猶太人の思ふことが一も二もなく亞米利加の政策になつて居る。露西亞も滅びた、支那も滅びました。今や近く日本國にも其毒手を及ぼさうとしてひたすら之れを試むべき機會を狙つて居ります。此場合に於きましては我々が猶太人に關し出來る限り、有の儘の事實を申すと云ふことは必要であるしまた之れを研究することは非常に面白い興味のあることであります。

らんこと〻思ふので今晩纏りが付かぬかも知れませんけれども、世界統一運動に就きましてあら
を申上ます。

世界と申しますと云ふと我々日本人は非常に大きなものに考へて居りますが、國を失ふて二千
年間諸所方々を流浪した猶太人に取りましては世界と云ふものは自分達の爲に造られたものでな
と思はれる程までに彼等は世界を跨に掛けて居ります。そこで其やうな大きな事を猶太人はやる
云ふと島國根性と違つて世界をまるで函庭のやうに思ふて居る猶太人から見ればそれは何でもな
とであります。そこで私は憚からず有の儘を申上げます。昨日の朝哈爾賓を出發致します時に京都
ルドンと云ふ英吉利人のお婆さんから雜誌を送つて呉れましたが、其雜誌を繙いて見ますと多く
告があります。それまでは知りませんでしたが、其廣告の中に靴屋の廣告が一つあります。何の
しに見ると云ふと全世界に六つの穴のある靴底を印せよと云ふ言葉が大きく書かれてあります。
から何氣なしに自分の靴を上げて見ると云ふと靴庭に打ち付けてある護謨は六つ穴がある、多分
がたの靴底もさうでせう。それは今まで何とも氣が付きませぬでしたけれども、是は猶太の紋を

猶太民族研究資料

酒井勝軍氏述

第一回　世界に於ける猶太民族の勢力（十一月二日）

猶太人に就きましては自分は耶蘇教の宣傳者と致しまして三十年以前から興味を以て研究して居りますが、つい最近フトしたことからして哈爾賓に勤務を命ぜられまして、自分の思はない所に思はない機會と動機とを得て猶太人の研究を始めました。是程までとは思ふて居らなかつた程自分に取りましても豫想外なる研究を致しました。併し私の研究は理窟ぢやありません。總て眼の前に現はれた事實なのでございまして、是が今後どう云ふやうに變つて行くか―私の御話申上げることは一々私の信ずる耶蘇教の聖書に明かに書いてあるものを主として御話するのですけれども、聖書の言葉は此處で引證する必要もなし又煩はしくもありますからそれは拔きます。詰り猶太人に關する聖書の豫言に基きまして―彼等は今後どう云ふ發展をするか、其發展に對して若し是が事實であるならば我々日本國民は之に對する所のどう云ふ處置を取らなければならんかと云ふことを此際お互に注意しなければな

酒井勝軍氏講演

猶太人研究資料

目次

されたので、徒らに日子を費さんことを虞れ、その儘印刷を以て寫字に代ゆることゝした。

今本册の配布に當つて特に一言を要するは吾人は本問題に關して必ずしも酒井氏の批評竝に論斷の儘肯定するもので無く、寧ろ或る場合には或る他の歸結を發見するかも知らぬのである。兎に角參考の爲め之を上梓して有志の士に頒つ、尙ほ猶太民族に關する各種の圖書其他資料を所或は其名を知らるゝ方にして、之を提供又は通報せらるゝの厚意を有せらるれば誠に幸甚とするある。

尙ほ本講演の內容は往々國事國交に關する所ある樣に思ふ人もあるから其等の誤解を防ぐ爲め特祕の取扱を願ふ。

大正十一年十二月十日

小林九郎

露西亞の革命と猶太人との關係は到底否むことの出來ぬ事實であると思ふ。
露國革命派の勢力の消長が吾が南滿の接壤地方たる北滿洲、極東露領及び西比利地方の政治、經濟、社會上に直接重大なる影響を及ぼしつゝあることは吾人の今眼前に見る所である。
世界に於ける猶太人の政治上、經濟上及び社會上偉大なる勢力を有するは、世人の夙に認識せる所である。

吾人に於ても是に見る所あり、大正八年以來猶太人を一つの研究題目に選出して研究し來つたが、人と資料との關係上容易に進捗を見る能はざるは誠に遺憾とする所である。

曩きに哈爾賓特務機關に於ては特に猶太民族の研究に力を注がれ隨時其の結果を内報して吾人の研究を援助せられたるは吾人の特に感謝措かざる所。

本年十一月初め前記特務機關に於て特に猶太人研究を以て聞へた酒井勝軍氏の遇々來連さるゝあり、一般有志の爲め特に同氏の講演を請ふたる所幸に快諾を得前後三回に亙り熱心なる而して珍らしき氏の研究の一端を聽くことを得た。

本册は即ち其の速記録であつて一應酒井氏親らの校閲を請ふ筈であつたが、氏は其後東京方面へ歸任

酒井勝軍氏講演

極秘

猶太民族研究資料